



# KANSAI 空港レビュー



No.426  
2014.5

## CONTENTS

- 1 | 巻頭言  
新関西国際空港の事業価値向上への取組みについて  
安藤 圭一
- 2 | 各界の動き
- 10 | 講演抄録  
地域のビジネスとして発展するインバウンド観光  
～アジア8地域・訪日外国人旅行者の意向調査を中心に～  
大来 哲郎
- 23 | プレスの目  
関空と統合型リゾート(IR)の可能性  
北口 節子
- 25 | 航空交通研究会研究レポート  
貨物価値と航空化率— 経済学的な視点からの予備的考察 —(後編)  
村上 英樹・松瀬由佳里
- 29 | 見学レポート  
日立造船Hitz防災ソリューションラボラトリーの見学会
- 31 | データファイル  
・運営概況について[平成25年度](速報値)  
・大阪税関貿易速報[関西空港](平成26年3月)  
・関西国際空港の出入(帰)国者数  
・平成26年G/W期間中における出入(帰)国者数【速報値(概数)】  
・関西3空港と国内主要空港の利用状況(2014年3月分)

### 【表紙写真】「MD-83 コカ・コーラFIFAワールドカップトロフィーツアー機」

4月13日、関空を離陸するコカ・コーラFIFAワールドカップトロフィーツアー機です。  
6月に開催される「2014 FIFAワールドカップ ブラジル」に向けて、ワールドカップの実物のトロフィーをもって世界90か国を巡るツアー機が運航されています。  
日本でも東京・渋谷ヒカリエでの一般公開や東北・陸前高田での東北トロフィープロジェクトなどが行われました。トロフィーは渋谷、陸前高田、関空と移動し、関空で待機したこのMD-83で米国に向かったようです。

撮影：柴崎 庄司

## 新関西国際空港の 事業価値向上への取組みについて



新関西国際空港株式会社  
代表取締役社長 兼 CEO

安藤 圭一

新関西国際空港株式会社が発足してから2年が経ち、コンセッションに向けた3ヶ年に及ぶ中期経営計画の最終年度に入りました。

最近の訪日外国人の動向について見てみますと、東南アジア諸国に対するビザの免除や緩和が行われるなど、「観光立国」に向けた取組みが国を挙げて進められたことにより、2013年の訪日外国人観光客は1,000万人を突破しました。尖閣諸島問題以降低迷していた中国からのお客様の数についても少しずつ回復してきており、日本と中国を結ぶ旅客便も増加傾向を示しています。

こういった背景もあり、関西空港においては、2013年度発着回数が13.3万回と過去最高に、旅客数は12年振りに1,800万人を超え、1,812万人となりました。外国人旅客については過去最高の496万人となっています。伊丹空港についても、プロペラ機枠が一部低騒音機枠へと転換されたことによる増便などから、発着回数13.9万回、旅客数1,410万人と、どちらも2年連続で前年を上回りました。

こういったフォローの風を活かし、両空港の事業価値を更に向上させるため、当社は様々な取組みを続けております。最近の例を挙げますと、2013年12月には、伊丹空港のターミナルビルを経営している大阪国際空港ターミナル(株)の株式を100%取得し、伊丹空港のターミナルビル改修など、上下一体的な取組みができる体制を作りました。2014年2月には、アジアの空港で最大級となる大規模太陽光発電施設(メガソーラー)が

稼働し、3月には、貨物ネットワークの強化に向けて、ライブチヒ・ハレ国際空港との戦略的提携を始めました。4月からは、フェデックスの北太平洋地区ハブが稼働を開始しております。増加するムスリムのお客様のニーズに応えられるよう、祈禱室の増設、リニューアルも行いました。現在は、第1ターミナルビルのリノベーションを進めながら、LCC専用の新ターミナルビルの設計、伊丹空港ターミナルビルの改修計画に取り掛かるなど、コンセッションの早期実現に向けた準備を着実に進めているところです。

空港や道路のような公共インフラにおけるコンセッションの国家的意義は、民間の資金や知恵を活かした新しいインフラ運営モデルを構築することです。インフラは、「建設」の時代から「運営」の時代にシフトしてきています。年金基金や、1,600兆円に及ぶ個人金融資産などを公共インフラに投じ、市場を活性化させることが必要です。当社にとっては、約1.2兆円に及ぶ債務からの脱却、顧客満足度と経営の自由度の更なる向上等に繋がります。

2014年は、1月に伊丹空港75周年、9月に関西空港20周年を迎える節目の年です。そこで当社は、「お客様が笑顔になる空港づくり」を推進するべく、昨年9月に「Smile Airport!」宣言を行いました。目まぐるしく環境が変わる空港・航空業界ですが、お客様と地域への感謝を忘れることなく一歩ずつ進んで参りますので、今後ともご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

# 各界の動き

## 関西国際空港

### ●キャセイ、期間限定で香港線を増便

キャセイパシフィック航空は9月1日から10月25日まで関西～香港線を週3便増便し、1日最大6往復で運航すると4月3日、発表した。機材はボーイング747-400型で増便中は週38便運航となる。

### ●エミレーツ・スカイカーゴ、ドバイ貨物便を直行便に

エミレーツ航空の貨物部門エミレーツ・スカイカーゴは4月5日から、ドバイ～関西～ソウルの貨物便を、関西～ドバイの直行便に変更した。ボーイング777F型貨物機（最大積載量100t）で週1往復運航する。

### ●米フェデックスが北太平洋地区ハブを稼働

航空貨物世界最大手の米フェデックスは4月8日、関西空港で貨物の集荷や通関などを担う大型専用施設（延べ2万5,000㎡）を稼働させたと発表した。毎時約9,000個の貨物の仕分けが可能で、アジアから集約した貨物を米国向けに発送するための拠点となる。



## クリック！

建設費56億円を負担するなど新関西空会社の熱心な誘致努力に加え、地元の自治体や経済界を挙げた活動が実って、韓国・仁川空港との競争に競り勝った。フェデックスはこれを機に米インディアナポリス直行便を開設、成田経由ながらパリ線も就航、2014年夏期の同社便は週54便と2013年冬期に比べ11便増える。LCCの誘致と並び、国際貨物ハブ空港としての機能強化を成長の柱に位置付けている関西空港にとって、着実な布石となった。

### ●英航空貨物専門誌調査で1位受賞

新関西国際空港会社は4月8日、英航空貨物専門誌『Air Cargo World』が調査した2014 Air Cargo Excellence Surveyのアジア地域部門（年間貨物取扱量40万t以上100万t未満）で、関西空港が1位を受賞したと発表した。9年連続3位以上で、通算6度目の1位。

### ●関西フードエクスポート&ブランディング協議会を設立

新関西国際空港会社は、三井住友海上火災保険、日本通運、三井住友銀行、関西・食・輸出推進事業協同組合とともに4月9日、関西フードエクスポート&ブランディング協議会を設立した。中小事業者向けに海外販路の開拓支援、輸出に伴う貿易実務を含む物流手配の簡素化、リスク対策をパッケージ化した「KANSAI FOOD PACKAGE」の導入などを柱に事業を展開する。

### ●運営権売却、SMBC日興をアドバイザーに起用

新関西国際空港会社は、傘下の関西・大阪両空港の運営権売却入札に向けてSMBC日興証券をアドバイザーに起用したことが分かった。SMBC日興は、両空港の運営権取得に興味のある

投資家の需要調査を含めて、入札実施へ新関西空会社に助言する。

#### ●オリーブを植樹、Smileの森に

新関西国際空港会社は4月9日、2期島のKIX そらばーくでオリーブの植樹を行った。空港スタッフら30人が10本を植えた。Smileの森と名付け、木を増やしていく。

#### ●ミャンマー・ヤンゴンへ週3便

ミャンマー国際航空は4月10日、関西空港とミャンマー最大の都市ヤンゴンを結ぶ定期便を今秋就航させると発表した。エアバス A319 型機（130席）を使用し、週3便の就航を計画している。日本からミャンマーへの定期便は全日本空輸の成田～ヤンゴン線があるが、関空からは初めて。

#### ●イスラム教徒向けの礼拝室拡充

新関西国際空港会社は4月15日、イスラム教徒が礼拝するための祈とう室をこれまでの1室から3室に拡充し、運用を始めた。男女別室で、手足を清める洗い場も設けた祈とう室は国内の空港では初めてという。

#### ●今秋、燃料電池フォークリフト実証実験

新関西国際空港会社は2016年度をメドに、燃料電池を搭載したフォークリフトを関西空港に本格導入する。今年秋にも豊田自動織機とトヨタ自動車が共同開発した燃料電池のフォークリフトの実証実験を始め、16年度には数十台規模を購入する。排ガスを出さないほか、燃料充填を3分程度と短時間でできる。環境に優しいだけでなく作業効率も向上すると判断した。

#### ●上海吉祥航空、上海線に就航

上海吉祥航空は4月15日、関西～上海線を1日1往復で就航した。A320型機（158席）で毎日運航する。

上海吉祥航空日本支店長の董蔚総括らが4月16日、大阪市内で記者会見し、関空～上海線を1日1往復から、年内にも3～4往復程度に増やす考えを示した。

#### ●ジェットスター、6月から第2拠点化

成田空港を拠点とする日本航空系列のLCC、ジェットスター・ジャパンは4月18日、国土交通省に提出した事業計画変更認可申請で、延期されていた関西空港の第2拠点化を6月から実施することが分かった。関空に整備士を常駐させて最大3機を夜間駐機することで、翌朝出発の早朝ダイヤを充実させる。関空に拠点を置いている全日空系LCC、ピーチ・アビエーションに対抗する狙いがある。

#### ●ジェットスター・ジャパン、3路線を増便

LCCのジェットスター・ジャパンは4月21日、旅客需要が伸びる6月から10月にかけて国内線の一部路線を増便すると発表した。関西発着では成田線は最大5往復から最大6往復、福岡線が1往復から2往復、那覇線が1往復から最大3往復となる。

#### ●SIMカードを自販機で販売

インターネット接続会社のソネットは4月22日からスマートフォンなどの高速通信サービスに使うプリペイド式の「SIMカード」を関西空港国際線到着フロアに設置した自動販売機で発売した。国内の国際空港でSIMカードを自販機で扱うのは初めて。日本を訪れた外国人が購入したカードを端末に差し込み、パスワードなどを登録すると、NTTドコモの高速通信サービス「LTE」が使える。

#### ●ヤンゴン新空港建設・運営に応札

ミャンマー最大の都市ヤンゴン近郊に開発される予定のハンタワディ新国際空港の建設・運営業者の再入札への応札が4月22日に締め切られ、新関西国際空港会社・大成建設連合を含む3

事業者が計画書を提出した。2013年の入札で韓国の仁川事業者への発注が決まったが、開発規模に関してミャンマー政府と意見が対立し、交渉が決裂、次点だったチャンギ空港と日揮の事業者が新たに交渉権を得て交渉したものの、やはり結論を出すことができなかった。ミャンマー政府は5月中に発注する事業者を公表する方針。

#### ●タイ・エアアジアXが7月めど就航

タイのLCC、タイ・エアアジアXは4月22日、7月をめぐりに日本に乗り入れると発表した。バンコク・ドムアン空港から成田空港に週7往復、関西空港に週5往復就航する。バンコクと日本を結ぶLCCの直行便は初めて。

#### ●2013年度発着回数は過去最高

新関西国際空港会社は4月23日、2013年度に関西空港で国際線を利用した外国人客は前年度比約30%増の496万人で、過去最多を更新したと発表した。円安や訪日ビザの緩和に加え、LCCなどが増便し、海外から訪れやすくなったためだ。関空の国内線や新関西空会社が運営する大阪空港も合わせた全体の利用者は3,222万人で、目標としていた3,200万人を上回った。

#### ●GWの国際線旅客3%増を予測

新関西国際空港会社は4月23日、ゴールデンウィーク期間中に関西空港を利用する国際線の旅客数が、前年同期比3%増の計36万1,600人になるとの予想を発表した。増便が相次いだ台湾が、前年比49%増の3万8,000人と最多。2006年以来、渡航先首位だった韓国は9%減の3万6,900人と続く。

#### ●JTBが開港20周年記念商品

JTBワールドバケーションズ西日本販売本部は4月23日、関西空港の開港20周年記念商品としてルックJTBで新商品「関空20周年」を発売すると4月28日発表した。航空会社からの「憧れのエアライングッズ」のプレゼントや、関西空港特別無料見学ツアーなど、オリジナル特典も設けた。

#### ●ピーチ、機長不足で最大2,088便欠航

LCCのピーチ・アビエーションは4月24日、5月19日から10月25日にかけて最大2,088便の運航を中止する可能性があるとして発表した。機長の採用が予定通り進まなかったのに加え、病欠が相次ぎ、必要な人数を確保できなくなったため、この期間の運航予定便数の16.2%に達する。5、6月の448便は中止が確定した。運航中止の可能性のあるのは、関西～福岡、関西～仙台など国内8路線と国際2路線。運航中止による減収は30億円に上る見通した。

#### ●乗り継ぎ客にサービス

新関西国際空港会社は4月25日から国際線同士の乗り継ぎ客を対象に、第1ターミナルビル1階の国際線到着フロアのトラベルデスクで、空港施設の無料券などの提供を開始した。

#### ●南海「ラピート」が赤く変身

南海電鉄は関西空港が開港20周年を迎えるのを記念して、4月26日から関空と難波を結ぶ特急ラピート1編成を赤に塗り替えて運行を始めた。映画「機動戦士ガンダム UC」に登場する組織「ネオ・ジオン」をイメージした。6月30日まで。

#### ●ピーチの搭乗者、累計500万人に

ピーチ・アビエーションは4月28日、開業約2年2か月で搭乗者数が累計500万人に達したと発表した。ピーチは今年夏ごろの到達を見込んでいたが、便数や就航先を増やしたことが寄与し目標を前倒しできた。

#### ●ピーチ欠航見直し、最大2,072便

ピーチ・アビエーションは4月30日、7月1日～10月25日に欠航の可能性のある国内線8、

国際線 1 路線の 1,624 便が決まったと発表した。路線別の減便数を一部見直したため欠航の恐れのある便数は 5 ～ 10 月で最大 2,072 便となる。

---

## 空港

---

### ＝ 大阪空港 ＝

#### ●移転補償跡地22か所を川西市に寄贈

新関西国際空港会社は 4 月 15 日、騒音対策で国が買い上げ、同社に所有権が移った大阪空港の移転補償跡地のうち、川西市内の 22 か所計約 0.91ha を同市に寄贈した。跡地が地元自治体に寄贈されるのは、兵庫県内では初めて。市は今後 10 年間で公園整備などを進める。

#### ●2013年度の発着回数、2年連続で増加

新関西国際空港会社は 4 月 23 日、大阪空港の 2013 年度の運営概況を発表した。発着回数は 13 万 9,000 回と前年比 9% 増で、2 年連続で前年を上回った。プロペラ機枠が一部、低騒音機枠へ転換されたことで増便されたことが主因。

### ＝ 神戸空港 ＝

#### ●仙台便5年ぶり就航

スカイマークは 4 月 1 日、神戸～仙台線を開設した。仙台便は 2009 年 3 月に全日空が廃止して以来、5 年ぶりの就航。1 日 2 往復。

#### ●2013年度搭乗者数、2年連続の減少

神戸市は 4 月 10 日、2013 年度の神戸空港の搭乗者数が、前年度に比べ 2.2% 減の 235 万 4,186 人だったと発表した。2 年連続の減少で、開港後の 8 年間で 3 番目に少なかった。

#### ●日本初のヘリ模擬飛行装置完成

エアバス・ヘリコプターズ・ジャパンは 4 月 14 日、神戸空港事務所で日本初のヘリコプター・フル・フライト・シミュレーターの運用を始めた。悪天候時や故障による非常操作など 195 種類の模擬訓練が可能。4 日間の標準訓練コースを 198 万円で提供する。総投資額は約 15 億円。

#### ●全日空が羽田線を期間限定で減便

全日本空輸は 7 月 18 日から 8 月 31 日の期間限定で、神戸～羽田線を 1 日 1 往復減らし、2 往復とする。夏期に旅客が増える羽田～那覇線に振り向ける。

### ＝ 首都圏空港 ＝

#### ●国交省審議会、発着100万回目指す

国土交通省は 4 月 23 日、交通政策審議会航空分科会基本政策部会（部会長・家田仁東大大学院教授）を開き、新時代の航空システム構築に向けた取りまとめ案を提示した。首都圏空港については、世界の経済成長を取り込んでいくためにも、発着回数 100 万回クラスの実現を目指し、検討を進めていく必要があると明記した。これまでの処理能力の拡充で、羽田・成田両空港の発着回数は、2014 年度中に 75 万回化を実現する見通し。

### ＝ 成田国際空港 ＝

#### ●LCCビルに大型フードコート

成田国際空港会社は、建設中の LCC 専用ターミナルビルに大型のフードコートを設ける。約 500 席を備え、和食店、ハンバーガーショップ、ラーメン店など、6 ～ 7 種類の飲食店がテナントとして入居する見込み。

#### ●乗り継ぎ客の液体物持ち込み規制緩和

成田空港を出発する国際線旅客機内への液体物の持ち込み制限が海外からの乗り継ぎ客を対象に 4 月 10 日から緩和され、日本発の国際線では、100ml を超す液体物が規制され、乗り継ぎ

客が出発地の空港免税店で購入した飲み物などを持ち込めないケースが多かった。規制緩和により、不正な開封を防ぐ専用のポリ袋に封入すればよくなる。

### ●2013年度の旅客数最多に

成田国際空港会社は4月24日、2013年度の旅客数が、過去最多の3,604万1,779人だったと発表した。円安や東南アジア5か国への観光ビザ発給要件の緩和などで、外国人旅客数が前年度比22%増の924万3,487人となり、リーマン・ショック前の2007年度に次いで多かった。さらに、国内線でLCC就航や増便が相次ぎ、同線旅客数は同比39%増の517万9,138人に上った。

### ●第3滑走路実現する会発足

成田空港周辺の経済団体幹部らが発起人となった成田第3滑走路実現する会（会長・池内富男成田商工会議所会頭）の設立総会が4月30日、成田市の成田商工会議所で開かれた。滑走路が次々と増設されている東アジアの国際空港や再び国際化が進む羽田空港に対し、成田空港の競争力を高めるのが目的。

#### ＝羽田空港＝

### ●日航、羽田からイタリアへチャーター便

日本航空は4月25日、羽田発イタリア行きチャーター便を7月から運航すると発表した。2014年夏ダイヤから増枠された羽田の国際線発着枠のうち、国際旅客チャーター便に暫定割り当てされた一部発着枠を活用する。運航するのはミラノとローマ線、どちらもボーイング787-8型機を使用する。

#### ＝中部国際空港＝

### ●滑走路増設で24時間化要望

中部国際空港2本目滑走路建設促進期成同盟会は4月24日、自民党本部などを訪れ、滑走路の増設によって24時間、離着陸ができるようにするなどの機能強化を要望した。

#### ＝その他空港＝

### ●豪シドニー近郊に新国際空港建設へ

オーストラリアのアボット首相は4月15日、国内外からの観光客やビジネス客の増加を背景に、シドニーに第2空港を建設すると発表した。場所はシドニー中心部の西50kmに位置するバジェリーズクリーク。2016年にも建設を開始し、開業は20年半ばの見通し。アボット首相は25億豪ドル（約2,300億円）に上る建設費の大半を「外資など民間の資金でまかなう」と述べた。

### ●仙台空港運営権分割払いを要望

日本PFI・PPP協会（植田和男理事長）の仙台空港等と公共施設等運営権研究会は、国土交通省が2013年11月に公表した仙台空港特定運営事業の基本スキーム案に対する提言をまとめた。デューデリジェンス・立ち入り検収の実施や運営権対価の分割払いなど11項目を要望した。

### ●民営化第1号は仙台空港、実施方針も公表

太田昭宏国土交通相は4月25日の閣議後の記者会見で、国が管理する空港の運営を民間に委託する地方空港の第1号について、仙台空港に決定したと発表した。国土交通省は同日、民間企業への委託期間を最長65年とすることなどを定めた実施方針を公表した。6月から公募開始。2015年8月にも優先交渉権者を選定し、同年11月の契約締結、16年3月下旬の運営開始を目指す。

### ●仙台空港三セク2社譲渡56億円

宮城県は4月28日、仙台空港の民営化に向けて、空港施設を運営する第三セクター仙台空港ビルと仙台エアカーゴターミナル2社の全株式の譲渡額を56億8,750万円に決めたと発表した。

---

## 航空

---

### ●エアアジア、15年に「日本に再参入」

マレーシアのLCC大手、エアアジアのトニー・フェルナンデス最高経営責任者（CEO）は4月10日、2015年をめぐりに新たな合併会社を設立し、日本の航空市場に再参入することを表明した。複数の日本企業と提携交渉を進めているという。

### ●スカイマーク、A380型機を試験飛行

スカイマークは4月9日、欧州エアバスに発注した超大型旅客機、A380型機の試験飛行に成功したと発表した。成田～ニューヨーク間など国際便に投入する計画で、6機を発注済み。800席超ある座席を約400席に減らして余裕を持たせる。同機を導入するのは、日本の航空会社では初めて。

### ●日本とブラジル、コードシェア枠組みの完全自由化で合意

日本・ブラジル航空当局間協議が4月8～10日、リオデジャネイロで開催され、コードシェア枠組みを完全自由化することで合意した。

### ●GW、国際線予約は好調

航空各社は4月18日、ゴールデンウィーク（4月25日～5月6日）の予約状況を発表した。国際線は前年比で日本航空が9.4%増、全日空15.9%増と好調。国内線は日本航空が1.9%減、全日空が2.7%増。九州方面で帰省・観光の需要が旺盛という。

### ●日本航空、タイ中堅航空会社と共同運航を拡大

日本航空は4月23日、タイの中堅航空会社、バンコク・エアウェイズが運航するバンコク発着路線との共同運航（コードシェア）を拡大すると発表した。現在はタイ国内など5路線で手掛けているが、5月7日からミャンマーやカンボジアなどの8路線を加える。

### ●全日空、10年ぶりに制服刷新

全日本空輸は4月24日、2015年初めに導入予定の客室乗務員や地上スタッフの新たな制服を羽田空港で公開した。約10年ぶりに刷新する女性客室乗務員の制服は、明るいグレーのジャケットと濃いグレーのスカートの組み合わせで、グループカラーである青のラインを背中にあしらった。

### ●米航空3社決算、明暗分ける

米航空大手3社の1～3月期決算が4月24日出そろった。米国を襲った寒波で欠航が相次ぎユナイテッド・コンチネンタル・ホールディングスは純損失が膨らんだ。デルタ航空など2社も寒波の影響はあったが黒字は確保し明暗を分けた。

### ●ピーチ機、那覇空港沖で異常降下

国土交通省は4月29日、ピーチ・アビエーション252便、エアバスA320型機（乗客乗員59人）が28日、那覇空港に着陸しようとした際、空港の約7km手前で海上約75mまで降下したと発表した。異常を示す警報装置が作動し、機首を上げる緊急回避措置を取って着陸をやり直した。国土交通省は、事故につながる恐れのある重大インシデントと認定し、調査を始めた。アルゼンチン国籍の男性機長（45）は「管制官から降下の指示を受けたと勘違いした」と話しているという。

ピーチ・アビエーション機が那覇空港着陸前に異常降下した問題で、機長らが着陸をやり直した後、同機を操縦し那覇発関西空港行きとして通常運航していたことが30日、わかった。

## ●ANA、日航とも増収減益

ANAホールディングスと日本航空は4月30日、2014年3月期連結決算を発表した。急速な円安進行による燃料費の負担増が響き、両社とも営業利益と最終利益は減益を余儀なくされた。ただ、景気回復を背景に国際線の旅客が好調だったことから売上高は伸び、両社とも増収減益となった。国際線の旅客収入はANAで13.5%、日航で7.6%増えた。

15年3月期の見通しでは、羽田空港の国際線発着枠の傾斜配分が明暗を分け、11枠を与えられたANAは、営業利益が28.8%増えると予想。一方、5枠だった日航は16.1%の減少を予想している。

## ●ジェットスター、成田～メルボルン線就航

オーストラリアのLCC、ジェットスター航空は4月30日、成田～メルボルン線を開設した。週4往復で、機材はエアバスA330-200型機(303席)を使用。親会社のカンタス航空が2008年9月から運休して以来、約5年半ぶりの直行便再開となった。

---

## 関西

---

### ●あべのハルカス来場者、350万人超え

近畿日本鉄道は4月1日、あべのハルカスで、全面開業した3月7日から同月31日までの25日間の入場者が、約356万人だったと発表した。目標(325万人)を約30万人上回るペースだ。

### ●堺市東西交通、LRT大小路線案が有力

堺市中心部の東西交通のあり方について有識者らが検討する堺市都心交通検討会議(座長・正司健一神戸大副学長)の最終会合が4月3日開かれた。市が示した3つの東西ルートや次世代型路面電車(LRT)とバスの導入比較資料などについて議論され、大小路線(1.7km)を推す意見が多かった。

### ●京都府知事選、山田氏が4選

任期満了に伴う京都府知事選挙は4月6日投開票され、無所属で現職の山田啓二氏(60)＝公明推薦＝が、無所属で新人の尾崎望氏(59)＝共産推薦＝を破り、4選を決めた。投票率は34.45%にとどまり、過去最低を記録した。

選管確定は次の通り。

|   |         |       |    |
|---|---------|-------|----|
| 当 | 481,195 | 山田 啓二 | 無現 |
|   | 215,744 | 尾崎 望  | 無新 |

### ●マカオのカジノ業者、大阪進出に意欲

松井一郎大阪府知事は4月7日、マカオなどでカジノ経営を手掛けるメルコ・クラウン・エンターテインメントのローレンス・ホー最高経営責任者らと府庁で会談した。ホー氏は「大阪でカジノが実現した場合は積極的に参加したいとの意向を伝えた。」

### ●USJ、2013年度の入場者1,050万人

米映画テーマパーク、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンを運営するユー・エス・ジェイは4月15日、2013年度の入場者数が約1,050万人だったと発表した。約1,100万人の入場者があった開業直後の2001年度以来、2番目の多さだった。前年度比約7%増で、3年連続で増加した。

### ●大阪府市のカジノ誘致、夢洲軸に

大阪府と大阪市は4月22日、カジノを含む統合型リゾート(IR)の立地準備会議を開き、臨海部の人工島、夢洲への立地を軸に誘致をめざす方針を決めた。都心部に近く、広い土地を確保できる点で有力と判断した。交通アクセス改善のため新たな鉄道インフラの整備も検討する。

### ●海外から大阪に観光客過去最高の260万人

2013年に大阪府を訪れた外国人旅行者が260万人を突破し、過去最高となったことが4月22日分かった。円安で国内全体の外国人旅行者数が伸びたことに加え、関西空港でのLCCの増便などが影響した。

### ●JR東海、リニア環境影響評価書を国交省に提出

JR東海は4月23日、東京～名古屋間で2027年の開業を目指すリニア中央新幹線の環境影響評価書を国土交通省に提出した。国交省は環境省の意見も踏まえ、評価書に対する意見書を7月末までに同社に送付。同社は工事の認可を国交相に申請、着工は秋以降になる見通した。

### ●大阪市補正予算案、なにわ筋新線調査費など

大阪府は4月25日、一般会計総額195億円の2014年度補正予算案を発表した。夢洲へのカジノを中心とする統合型リゾートの誘致に向け、アクセスなどの調査費600万円を計上。大阪・梅田から関西空港への接続時間を大幅に短縮する「なにわ筋線」の新設も目指し、400万円の調査費も盛り込んだ。

### ●グランフロント大阪が開業1年、5,300万人来場

JR大阪駅北側の再開発地域、うめきたの大型複合施設、グランフロント大阪が4月25日、オープンから1年を迎えた。開業後1年の来場者数は5,300万人と発表。目標の3,650万人の約1.5倍で、東京スカイツリータウンの5,080万人を上回った。

### ●ゴールデンウィーク、大阪が人気

JTB西日本がまとめたゴールデンウィーク期間中のホテル・旅館の宿泊予約数は、大阪が前年同期に比べて17%増えた。あべのハルカスや新イベントを導入したユニバーサル・スタジオ・ジャパンなど新しい観光スポットやホテルが旅行者をひきつけ、減少が目立つ全国・他地域との格差が鮮明になっている。

### ●JR東海名誉会長、大阪同時開業求める自民案に難色

JR東海の葛西敬之名誉会長は4月28日の記者会見で、東京～名古屋間のリニア中央新幹線を、大阪まで同時開業する自民党案について、「私たちのコミットメント（公約）を途中で変えることはない」と話し、否定的な考えを示した。

---

## 国

### ●3月の訪日客105万人、月間で最高

政府観光局は4月23日、3月に日本を訪れた外国人旅行者が推計で105万500人だったと発表した。前年同月比22.6%増で、月間として昨年7月の100万3,000人を上回り、過去最高となった。日中関係悪化で一時期落ち込んでいた中国が好調で、東南アジアの増加傾向も続いている。

### ●新ウランバートル空港の運営権でトップセールス

モンゴル出張中の太田昭宏国土交通相は4月28日、アルタンホヤグ首相をはじめとするモンゴル政府要人と会談し、モンゴル郊外に整備中の新ウランバートル国際空港の運営権獲得に向けたインフラ輸出のトップセールスを行った。

## ● 講演抄録

# 地域のビジネスとして発展する インバウンド観光

～アジア8地域・訪日外国人旅行者の意向調査を中心に～

株式会社日本政策投資銀行関西支店  
企画調査課長

大来 哲郎 氏



● と き 平成26年3月13日（木）

● と ころ 大阪キャッスルホテル7階

## ■はじめに

ただいまご紹介に預かりました日本政策投資銀行関西支店企画調査課の大来と申します。どうぞよろしくお願い致します。今日は専門家の方が多数おられる中で僭越ですが、アジアのインバウンド観光についてお話をさせていただきます。

昨年秋から冬にかけてアジア8か国・地域にそれぞれ500人ずつ、計4,000人にWebアンケートを行いました。日本について、あるいは旅行について色々な質問をして集計したデータがあります。その内容につきまして、お話をする機会を与えていただきました。

今日はインバウンド観光について少しおさらいをした上で、アンケートの分析結果と、その中から得られた示唆、私見を含めた見解を述べさせていただきます。

個人的な話ですが、私は昨年4月に転勤で関西へ参りまして、ほぼ毎週末、関西中を旅行し、その魅力に取りつかれております。関西のポテンシャルというのは物凄くて、今後は関東よりも関西の方がインバウンドを広げて行く上で可能性が極めて高いと思っています。

## ■国内観光市場の状況

東日本大震災前の国内観光市場を調べてみました。宿泊回数は1995年にピークの延べ1億8,000万回を記録していますが、それ以降は減少しています。バブルの崩壊、その後の失われた20年などと言われる中、90年代半ばから日本列島は失速状態になり、観光だけでなく、小

売販売額や自動車販売台数など、色々なものが販売数量が頭打ちになってきました。諸説あると思いますが、少子化・高齢化の影響の中でも現役世代と言われる15歳～64歳の生産年齢人口が90年代半ばを境に減り始めてきたことが、何よりも日本経済にとって痛手でした。アクティブシニアと言われている70歳代の人たちの頑張りに当面は期待するのですが、この世代の方々が豪勢な旅行をするようには思えません。従って内需である国内旅行者数については、長期低落傾向が続くのは間違いありません。

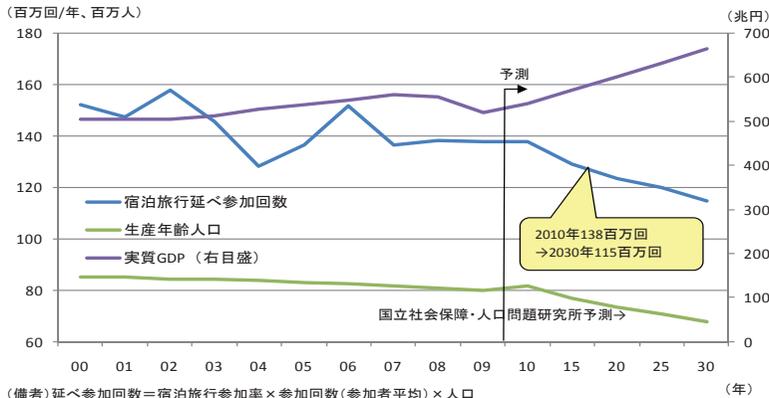
## ■インバウンド観光客への期待

一方、東日本大震災以後の状況では、当然震災直後には内外の旅行者は激減しましたが、回復は予想以上に早く、特に国内観光の落ち込みを好調なインバウンド観光がカバーし、昨年訪日外国人数はついに年間1,000万人を達成しました。

中長期的にも外需は回復傾向にあるのですが、内需については弊行の試算では2030年までに17%ぐらい減っていくという予測があります。そういう状況で頼りになるのがインバウンド観光の拡大です。我が国の周辺国では人口も所得も上がっていて、近年、台湾や中国などからのインバウンド観光客が増え続けています。内需の落ち込みを補っていくことが期待されます。先ほどお伝えした年間1,000万人越えについても、弊行の予測では、2015年頃と想定していましたが、2年も早く達成出来て良い

## 風評被害の収束と国内宿泊需要の見通し～震災後(DBJ予測)

【邦人宿泊旅行延べ参加回数の予測(全国、2030年まで)】



● 国内需要の喚起

(備考) 延べ参加回数 = 宿泊旅行参加率 × 参加回数(参加者平均) × 人口  
 (出典) 日本観光協会「観光の実態と志向」、内閣府「国民経済計算」、厚生労働省「人口動態統計」、  
 国立社会保障・人口問題研究所「将来推計人口」より作成  

$$\ln(\text{邦人宿泊旅行延べ参加回数}) = -8.809 + 1.306 \times \ln(\text{生産年齢人口}) + 0.295 \times \ln(\text{実質GDP}) - 0.195 \times \ln(\text{パソコン普及率})$$
 (1.703) (2.134) (-1.939)  
 補正R<sup>2</sup>=0.793 推計期間: 1974年～2009年 ( )内はt値



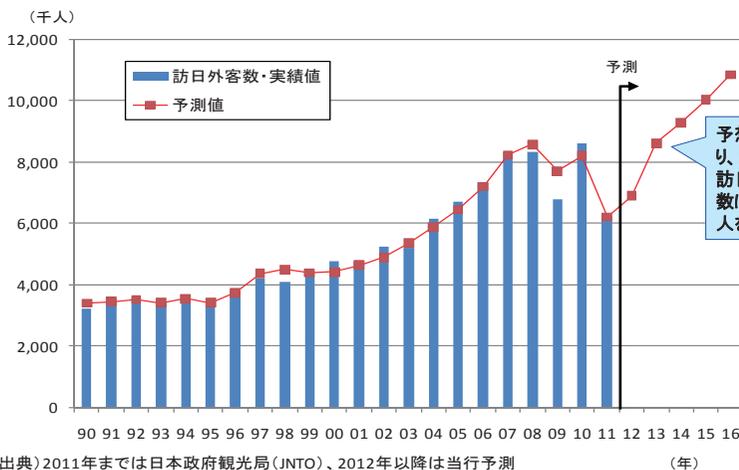
意味で予測が裏切られました。円安やビザの発給要件の緩和などの影響があったと考えられています。

しかしインバウンドが好調だからと言って各

地方の観光業者がいきなりインバウンドに向ってもうまくいきません。内需をどうしていくか、しっかり考えるべきだと思っています。宿泊客数が減っていく分、お客様一人一人の消費

## 訪日外国人旅行者数の見通し(2012年2月時点)

【訪日外国人数の予測(全国、2016年まで)】



● インバウンドの拡大

(出典) 2011年までは日本政府観光局(JNTO)、2012年以降は当局予測



単価を上げる、観光収入をいかに維持拡大していくかということが重要ではないかと考えています。

我々が海外に旅行する時のことを考えればよく分かりますが、安ければ良いというものではありません。外国の人たちがどのように生活しているか、その姿に触れたり、その国の文化を見たりすることが満足出来る旅行だと思います。そのためには、高品質なサービスの提供が必要になってきます。旅行人数が増えたと単純に騒ぐのではなくて訪れる旅行者が満足してくれるかどうか、質の部分を見失ってははいけません。

次に訪日外国人の国別の推移を見てみましょう。韓国がトップで、次いで台湾、中国と続きます。中国はここ10年の間に大きく伸びています。以前は、韓国、台湾、中国の3カ国で5割程度のシェアが、この10年で6割程度のシェアになりました。インバウンド観光における最大のマーケットであるということです。一方で、欧米各国からの旅行者が伸び悩んでいます。訪日旅行者が増加している近隣アジアのマーケットも重要ですが、旅行好きとされるド

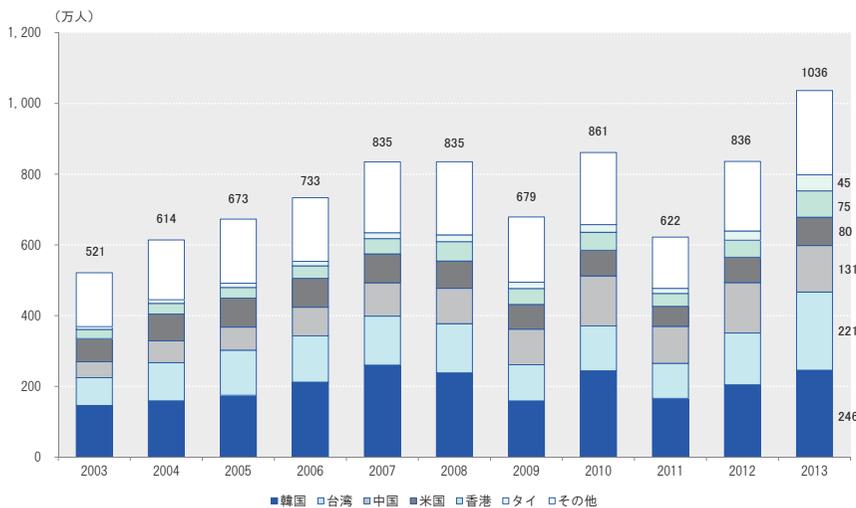
イツ人など、本当は旅慣れた欧米の人たちにもっと多く来てもらえる日本にしなければいけないと思います。

### ■関空と成田における国籍別入国者

アジアにおいて訪日ビザ発給要件が緩和されたこと、円安が進行したことなどを受け、日本全体はもちろんのこと、関空も昨年、大いに利用客を増やしました。成田と比べても伸び率が大きい。LCCの就航便数の多い韓国、台湾、香港を中心に増加が見られます。

さて、これまで内需、外需と見てきましたが、インバウンドにおいて明るい兆しが見えているとはいえ、世界での位置づけを見ると、訪日外国人数は33位、アジアの中でも8位でまだまだです。1980～90年代に、日本が貿易黒字でバッシングを受けていた時期には、貿易黒字を減らすためにアウトバウンドを進めてきたという経緯があったと思います。そういう意味では、「ビジットジャパンキャンペーン」が始まってからまだ10年そこそこですから、日本が本気になってインバウンドに取り組めば他国に負けないのではないかと考えています。

訪日外国人旅行者数の国別推移(2003年－2013年)

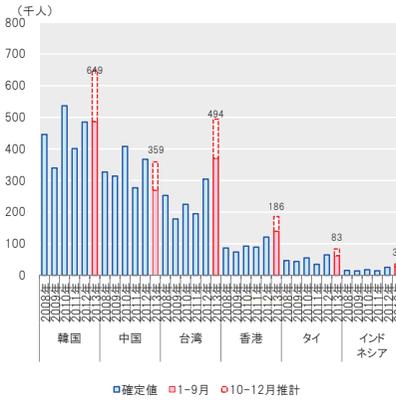


(出所)日本政府観光局(JNTO)「国籍別訪日外客数」より日本政策投資銀行作成

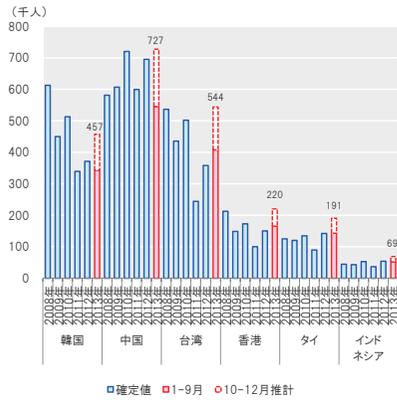


## 国籍別 入国者推移

関西国際空港



成田空港



(出所) 法務省「出入国管理統計」より日本政策投資銀行作成



6

日本政策投資銀行

## アジア 8 地域・訪日外国人旅行者の意向調査

以上が前置きで、いよいよアンケート結果の本題に入ります。調査は2013年10月に実施しております。韓国、中国、台湾、香港、タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシアの8地域において各地域500人ずつ、計4,000人が対象です。20歳～59歳の海外旅行経験者にインターネットで回答していただきました。

最初に今後旅行したい国・地域を聞いています。全体では日本がトップで約5割の人が旅行したい国に挙げています。次いでオーストラリア、韓国、スイス、ニュージーランドの順になります。国別にみまると、例えば韓国の人にとってはスイスが一番でオーストラリア、フランスの順で日本は10番目になっていました。訪日希望がトップとなっているのは、台湾、香港、シンガポール、マレーシア、タイの地域でした。

## 「今後旅行したい国・地域」

(回答は当てはまるもの全て)

| 回答者        | 全体   | 韓国  | 中国  | 台湾  | 香港  | タイ  | シンガポール | マレーシア | インドネシア |
|------------|------|-----|-----|-----|-----|-----|--------|-------|--------|
| ↑旅行したい国・地域 | 4000 | 500 | 500 | 500 | 500 | 500 | 500    | 500   | 500    |
| 日本         | 52%  | 20% | 53% | 68% | 62% | 55% | 57%    | 56%   | 42%    |
| オーストラリア    | 42%  | 46% | 54% | 32% | 51% | 20% | 46%    | 52%   | 33%    |
| 韓国         | 41%  | -   | 46% | 30% | 50% | 27% | 47%    | 51%   | 32%    |
| スイス        | 37%  | 49% | 42% | 37% | 37% | 20% | 47%    | 39%   | 23%    |
| ニュージーランド   | 37%  | 44% | 44% | 38% | 36% | 18% | 52%    | 43%   | 17%    |
| アメリカ       | 37%  | 33% | 51% | 41% | 30% | 19% | 49%    | 36%   | 33%    |
| フランス       | 36%  | 45% | 45% | 39% | 39% | 16% | 37%    | 38%   | 31%    |
| イギリス       | 35%  | 38% | 39% | 35% | 39% | 19% | 40%    | 38%   | 35%    |
| 香港         | 33%  | 28% | 51% | 35% | -   | 23% | 33%    | 37%   | 24%    |
| イタリア       | 32%  | 36% | 39% | 35% | 36% | 15% | 34%    | 33%   | 27%    |
| 台湾         | 31%  | 16% | 44% | -   | 55% | 8%  | 40%    | 41%   | 10%    |
| シンガポール     | 28%  | 24% | 36% | 30% | 39% | 21% | -      | 26%   | 21%    |
| タイ         | 26%  | 16% | 30% | 25% | 37% | -   | 29%    | 25%   | 20%    |
| 中国本土       | 26%  | 16% | -   | 38% | 32% | 21% | 26%    | 30%   | 16%    |
| マカオ        | 22%  | 14% | 38% | 22% | 36% | 9%  | 22%    | 29%   | 9%     |
| マレーシア      | 18%  | 11% | 26% | 19% | 30% | 9%  | 20%    | -     | 9%     |
| ベトナム       | 17%  | 17% | 11% | 12% | 23% | 14% | 23%    | 25%   | 10%    |
| インドネシア     | 12%  | 12% | 16% | 10% | 14% | 6%  | 14%    | 16%   | -      |



(注1) 上位5項目については赤で塗りつぶしを行った。  
(注2) 32の選択数から抜粋した。

10

日本政策投資銀行

## ■日本の観光地の認知度

次に日本の観光地の認知度を聞きました。実際に行ってみたい日本の観光地では東京、富士山、北海道などが上位を占めていますが、関西の各地もかなり人気は高い結果が出ています。関西と言っても大阪、京都、神戸の認知度は高いのですが、「関西」という言葉になると認知度は下がります。なお、関西で相対的に知名度が低い奈良については、リピーターとなると認知度が上昇します。何回も来るリピーターを大事にしなければなりません。そういう人たちに

日本をよりよく知ってもらうことが重要です。

## ■実際に行ってみたい日本の観光地

次に日本のどの場所に行きたいかを聞きました。温泉、日本的な町並み、富士山、桜、和風旅館、雪景色、紅葉とやはり日本の原風景が上位になっています。少し面白いのはマレーシアやタイ、インドネシアの人たちは工場の生産ラインを見学したいとの希望が他国に比べて高いことです。日本の高度なハイテク技術の現場への関心も相応にあるのでしょう。

**「実際に行ってみたい日本の観光地」①**

(回答は当てはまるもの全て)

| 回答者→<br>訪日経験→ | 全体   |     |      | 韓国  |     |      | 中国  |     |      | 台湾  |     |      | 香港  |     |      |
|---------------|------|-----|------|-----|-----|------|-----|-----|------|-----|-----|------|-----|-----|------|
|               | なし   | 1回  | 2回以上 | なし  | 1回  | 2回以上 | なし  | 1回  | 2回以上 | なし  | 1回  | 2回以上 | なし  | 1回  | 2回以上 |
| サンプル数         | 2006 | 766 | 1015 | 171 | 112 | 183  | 223 | 125 | 147  | 166 | 122 | 197  | 122 | 115 | 254  |
| 東京            | 48%  | 44% | 47%  | 30% | 30% | 33%  | 43% | 58% | 59%  | 49% | 48% | 54%  | 43% | 43% | 43%  |
| 富士山           | 50%  | 45% | 46%  | 27% | 29% | 40%  | 60% | 62% | 63%  | 43% | 45% | 52%  | 33% | 32% | 31%  |
| 箱根            | 4%   | 12% | 21%  | 2%  | 8%  | 13%  | 8%  | 15% | 17%  | 13% | 26% | 39%  | 7%  | 10% | 20%  |
| 日光            | 1%   | 4%  | 9%   | 1%  | 2%  | 4%   | 3%  | 7%  | 11%  | 3%  | 5%  | 20%  | 2%  | 2%  | 3%   |
| 北海道           | 40%  | 45% | 53%  | 16% | 20% | 27%  | 59% | 57% | 61%  | 58% | 58% | 69%  | 44% | 41% | 57%  |
| 札幌            | 15%  | 26% | 38%  | 24% | 29% | 40%  | 16% | 30% | 28%  | 26% | 40% | 49%  | 18% | 20% | 40%  |
| ニセコ           | 1%   | 1%  | 3%   | 1%  | 1%  | 0%   | 1%  | 5%  | 10%  | 1%  | 0%  | 4%   | 1%  | 1%  | 1%   |
| 仙台            | 5%   | 9%  | 16%  | 4%  | 2%  | 6%   | 10% | 16% | 21%  | 14% | 11% | 28%  | 4%  | 10% | 13%  |
| 立山/黒部         | 2%   | 4%  | 14%  | 0%  | 0%  | 2%   | 0%  | 0%  | 2%   | 13% | 18% | 36%  | 4%  | 3%  | 23%  |
| 名古屋           | 17%  | 25% | 30%  | 8%  | 13% | 18%  | 29% | 42% | 42%  | 41% | 39% | 47%  | 25% | 23% | 26%  |
| 伊勢/志摩         | 1%   | 3%  | 8%   | 0%  | 0%  | 1%   | 0%  | 3%  | 8%   | 5%  | 10% | 16%  | 4%  | 3%  | 8%   |
| 飛騨/高山         | 1%   | 2%  | 8%   | 1%  | 1%  | 1%   | 0%  | 1%  | 3%   | 4%  | 10% | 21%  | 2%  | 1%  | 9%   |
| 関西            | 6%   | 12% | 20%  | 4%  | 7%  | 11%  | 7%  | 12% | 13%  | 20% | 22% | 33%  | 10% | 10% | 20%  |
| 京都            | 29%  | 34% | 41%  | 24% | 21% | 32%  | 39% | 47% | 50%  | 45% | 47% | 57%  | 23% | 25% | 33%  |
| 奈良            | 7%   | 14% | 26%  | 4%  | 8%  | 21%  | 20% | 28% | 30%  | 17% | 24% | 39%  | 9%  | 10% | 24%  |
| 大阪            | 33%  | 40% | 41%  | 29% | 29% | 36%  | 35% | 50% | 43%  | 47% | 53% | 52%  | 32% | 30% | 36%  |
| 神戸            | 15%  | 21% | 28%  | 11% | 12% | 21%  | 21% | 37% | 29%  | 28% | 32% | 41%  | 17% | 12% | 25%  |
| 広島            | 12%  | 11% | 17%  | 7%  | 6%  | 9%   | 12% | 13% | 23%  | 10% | 11% | 25%  | 5%  | 9%  | 10%  |
| 四国            | 4%   | 7%  | 12%  | 2%  | 2%  | 4%   | 5%  | 12% | 12%  | 17% | 12% | 24%  | 7%  | 3%  | 14%  |
| 九州            | 9%   | 15% | 25%  | 13% | 14% | 21%  | 11% | 14% | 27%  | 26% | 23% | 31%  | 15% | 19% | 29%  |
| 福岡/博多         | 7%   | 10% | 20%  | 12% | 14% | 20%  | 4%  | 10% | 19%  | 13% | 18% | 29%  | 7%  | 5%  | 17%  |
| 沖縄            | 19%  | 27% | 34%  | 14% | 18% | 26%  | 23% | 36% | 34%  | 42% | 41% | 52%  | 32% | 36% | 35%  |

(注1) 上位5項目については赤、程または黄色で塗りつぶしを行った。  
(注2) 45の選択肢のうち、24項目を並べたものである。

13

日本政策投資銀行

**「実際に行ってみたい日本の観光地」②**

(回答は当てはまるもの全て)

| 回答者→<br>訪日経験→ | タイ  |     |      | シンガポール |     |      | マレーシア |     |      | インドネシア |     |      |
|---------------|-----|-----|------|--------|-----|------|-------|-----|------|--------|-----|------|
|               | なし  | 1回  | 2回以上 | なし     | 1回  | 2回以上 | なし    | 1回  | 2回以上 | なし     | 1回  | 2回以上 |
| サンプル数         | 303 | 98  | 76   | 261    | 98  | 97   | 371   | 51  | 38   | 389    | 45  | 23   |
| 東京            | 50% | 50% | 53%  | 41%    | 41% | 48%  | 57%   | 39% | 61%  | 56%    | 36% | 39%  |
| 富士山           | 55% | 55% | 59%  | 54%    | 51% | 49%  | 54%   | 39% | 32%  | 52%    | 42% | 39%  |
| 箱根            | 2%  | 11% | 16%  | 2%     | 6%  | 20%  | 2%    | 0%  | 11%  | 1%     | 2%  | 4%   |
| 日光            | 1%  | 6%  | 7%   | 1%     | 1%  | 10%  | 1%    | 10% | 5%   | 1%     | 0%  | 9%   |
| 北海道           | 43% | 51% | 58%  | 52%    | 54% | 53%  | 48%   | 41% | 42%  | 14%    | 22% | 30%  |
| 札幌            | 18% | 22% | 33%  | 13%    | 28% | 35%  | 9%    | 12% | 26%  | 8%     | 11% | 17%  |
| ニセコ           | 0%  | 1%  | 5%   | 1%     | 1%  | 4%   | 1%    | 2%  | 3%   | 1%     | 0%  | 0%   |
| 仙台            | 7%  | 14% | 21%  | 2%     | 4%  | 6%   | 4%    | 10% | 8%   | 3%     | 4%  | 9%   |
| 立山/黒部         | 1%  | 2%  | 11%  | 0%     | 0%  | 3%   | 1%    | 0%  | 0%   | 1%     | 2%  | 0%   |
| 名古屋           | 10% | 11% | 25%  | 7%     | 14% | 19%  | 18%   | 22% | 18%  | 15%    | 24% | 17%  |
| 伊勢/志摩         | 1%  | 4%  | 8%   | 0%     | 0%  | 4%   | 1%    | 0%  | 5%   | 1%     | 0%  | 0%   |
| 飛騨/高山         | 1%  | 1%  | 11%  | 1%     | 0%  | 0%   | 1%    | 2%  | 0%   | 3%     | 2%  | 0%   |
| 関西            | 7%  | 12% | 26%  | 3%     | 7%  | 14%  | 4%    | 16% | 18%  | 3%     | 4%  | 9%   |
| 京都            | 38% | 35% | 49%  | 17%    | 31% | 36%  | 22%   | 29% | 29%  | 27%    | 24% | 22%  |
| 奈良            | 7%  | 14% | 26%  | 4%     | 7%  | 20%  | 3%    | 6%  | 16%  | 2%     | 0%  | 9%   |
| 大阪            | 30% | 37% | 46%  | 29%    | 38% | 40%  | 34%   | 35% | 37%  | 35%    | 40% | 22%  |
| 神戸            | 12% | 20% | 24%  | 10%    | 14% | 29%  | 15%   | 20% | 21%  | 10%    | 13% | 17%  |
| 広島            | 15% | 19% | 25%  | 8%     | 6%  | 19%  | 10%   | 10% | 11%  | 18%    | 16% | 9%   |
| 四国            | 3%  | 10% | 8%   | 1%     | 2%  | 6%   | 1%    | 12% | 8%   | 2%     | 0%  | 0%   |
| 九州            | 10% | 13% | 21%  | 5%     | 9%  | 23%  | 6%    | 8%  | 13%  | 3%     | 7%  | 0%   |
| 福岡/博多         | 10% | 14% | 24%  | 2%     | 5%  | 21%  | 6%    | 6%  | 3%   | 4%     | 2%  | 9%   |
| 沖縄            | 15% | 17% | 32%  | 15%    | 16% | 28%  | 16%   | 20% | 16%  | 13%    | 22% | 22%  |

(注1) 上位5項目については赤、程または黄色で塗りつぶしを行った。  
(注2) 45の選択肢のうち、24項目を並べたものである。

14

日本政策投資銀行

## ■日本に対するイメージ

また日本に対するイメージを言葉にして答えてもらったところ、隣国の韓国では「放射能」という言葉が頻出しました。逆によいイメージとしては「クリーン」という言葉がどの国にも

出ています。さらに「綺麗」だとか、「丁寧」、「秩序」などの認識が諸外国にはあるということです。タイやシンガポール、マレーシア、インドネシアでは「高度な技術」という単語が日本のイメージとして挙げられています。

| 「日本に対するイメージ」(自由回答) |    | 自由回答における頻出単語 |                      |                  |                      |               |               |
|--------------------|----|--------------|----------------------|------------------|----------------------|---------------|---------------|
| 国                  | 項目 | 1            | 2                    | 3                | 4                    | 5             | 6             |
| 韓国                 | 原文 | 방사능          | 깨끗                   | 친절               | 질서                   | 역사            | 가깝고도 먼        |
|                    | 意味 | 放射能          | クリーン                 | 親切               | 秩序                   | 歴史            | 近くて遠い         |
|                    | 実数 | 61           | 45                   | 36               | 19                   | 17            | 14            |
|                    | %  | 12%          | 9%                   | 7%               | 4%                   | 3%            | 3%            |
| 中国                 | 原文 | 干净、清洁        | 礼貌                   | 风景               | 秩序                   | 美丽            | 时尚            |
|                    | 意味 | クリーン         | 丁寧                   | 風景               | 秩序                   | 美しい           | ファッション        |
|                    | 実数 | 57           | 25                   | 22               | 17                   | 15            | 13            |
|                    | %  | 11%          | 5%                   | 4%               | 3%                   | 3%            | 3%            |
| 台湾                 | 原文 | 乾淨、清潔、clean  | 禮貌                   | 先進               | 秩序                   | 風景優美、風景美、美景   | 美食            |
|                    | 意味 | クリーン         | 丁寧                   | 高度な              | 秩序                   | 風景が美しい        | グルメ           |
|                    | 実数 | 110          | 51                   | 27               | 22                   | 15            | 13            |
|                    | %  | 22%          | 10%                  | 5%               | 4%                   | 3%            | 3%            |
| 香港                 | 原文 | good         | 乾淨、清潔、clean          | 禮貌、polite        | 先進                   | 現代、modern     | 規律            |
|                    | 意味 | 良い           | クリーン                 | 丁寧な              | 高度な                  | モダン           | 規律            |
|                    | 実数 | 73           | 51                   | 25               | 22                   | 7             | 7             |
|                    | %  | 15%          | 10%                  | 5%               | 4%                   | 1%            | 1%            |
| タイ                 | 原文 | สวย          | เรียบร้อย            | เทคโนโลยี        | ทันสมัย              | สะอาด         | ทันสมัย       |
|                    | 意味 | 美しい          | 秩序                   | 技術               | モダン                  | クリーン          | 桜             |
|                    | 実数 | 90           | 51                   | 34               | 31                   | 21            | 12            |
|                    | %  | 18%          | 10%                  | 7%               | 6%                   | 4%            | 2%            |
| シンガポール             | 原文 | beautiful    | clean                | tech, technology | good                 | polite        | modern        |
|                    | 意味 | 美しい          | クリーン                 | 技術               | 良い                   | 丁寧            | モダン           |
|                    | 実数 | 61           | 42                   | 25               | 21                   | 16            | 16            |
|                    | %  | 12%          | 8%                   | 5%               | 4%                   | 3%            | 3%            |
| マレーシア              | 原文 | advance、先进   | beautiful            | tech, teknologi  | discipline, disiplin | clean, bersih | modern, moden |
|                    | 意味 | 高度な          | 美しい                  | 技術               | 規律                   | クリーン          | モダン           |
|                    | 実数 | 38           | 37                   | 37               | 27                   | 21            | 19            |
|                    | %  | 8%           | 7%                   | 7%               | 5%                   | 4%            | 4%            |
| インドネシア             | 原文 | maju         | discipline, disiplin | tech, teknologi  | canggih              | unik          | bersih        |
|                    | 意味 | 高度な          | 規律                   | 技術               | 洗練された                | ユニーク          | クリーン          |
|                    | 実数 | 84           | 50                   | 47               | 25                   | 20            | 16            |
|                    | %  | 17%          | 10%                  | 9%               | 5%                   | 4%            | 3%            |

\* 各国ごとに500の回答。一つの回答に複数の単語が含まれている場合もある。

## ■日本へ旅行をしたいと考えたきっかけ

次に日本へ旅行をしたいと考えたきっかけについて聞いています。上位には日本の景観、温泉、日本食、文化・歴史や治安の良さなどが挙げられています。関西は間違いなくいずれにおいても日本で一番だと思えます。

日本旅行に対する不安材料についても聞いています。やはり言葉が通じるのかという不安、滞在費や渡航費のコスト面への不安が上位にあがり、放射能の影響もかなり上位にあがっています。マレーシアやインドネシアはイスラム圏ということもあって食べ物が合わないという不安があるようです。さらに旅行申し込み手続きが面倒という意見が中国やインドネシアにありました。

東日本大震災後の日本旅行について聞いています。嬉しいことに震災直後は心配したけれ

ど、今は日本旅行を控えようとは思わないという意見が7割もありました。逆に言うと3割が今も控えているということですが、そういう方々も含めて、日本の正確な状況を伝えて行かねばなりません。

## ■日本旅行でのショッピング

次に日本へ来た時にどこで買い物をしたかを聞いています。ショッピングモール、土産物屋、百貨店、空港、スーパーマーケット等がランキング入りしていて、意外とバラツキがあるという印象です。日本で外貨両替やキャッシュカードが使える場所がもっと多ければ、あるいは日本の免税制度がもっと分かり易ければ買い物をたくさんするかどうかという質問では、利便性が高まればもっとお金を使ったという人が5割を超えています。免税制度は今年改善されます

## 「日本旅行に対する不安材料」

(回答は当てはまるもの全て)

| 回答者→                     | 全体   |     |      | 韓国  |     |      | 中国  |     |      | 台湾  |     |      | 香港  |     |      | タイ  |     | シンガポール |     | マレーシア |      | インドネシア |     |      |     |     |     |
|--------------------------|------|-----|------|-----|-----|------|-----|-----|------|-----|-----|------|-----|-----|------|-----|-----|--------|-----|-------|------|--------|-----|------|-----|-----|-----|
| 訪日経験→                    | なし   | 1回  | 2回以上 | なし  | 1回  | 2回以上 | なし  | 1回  | 2回以上 | なし  | 1回  | 2回以上 | なし  | 1回  | 2回以上 | なし  | 1回  | 2回以上   | なし  | 1回    | 2回以上 | なし     | 1回  | 2回以上 |     |     |     |
| サンプル数                    | 2202 | 782 | 1016 | 202 | 114 | 184  | 228 | 125 | 147  | 176 | 127 | 197  | 130 | 116 | 254  | 322 | 102 | 76     | 303 | 100   | 97   | 409    | 53  | 38   | 432 | 45  | 23  |
| 言葉が通じるかどうか不安             | 61%  | 53% | 45%  | 34% | 34% | 29%  | 47% | 50% | 39%  | 58% | 58% | 45%  | 67% | 67% | 59%  | 65% | 46% | 38%    | 64% | 61%   | 47%  | 73%    | 51% | 45%  | 62% | 53% | 48% |
| 滞在費(現地での費用)が高い           | 59%  | 49% | 40%  | 50% | 46% | 46%  | 33% | 26% | 14%  | 54% | 49% | 48%  | 44% | 44% | 30%  | 66% | 60% | 64%    | 67% | 61%   | 53%  | 67%    | 60% | 47%  | 65% | 60% | 57% |
| 渡航費用が高い                  | 54%  | 42% | 35%  | 27% | 25% | 22%  | 29% | 26% | 19%  | 55% | 45% | 53%  | 47% | 37% | 31%  | 40% | 44% | 38%    | 70% | 58%   | 49%  | 70%    | 68% | 50%  | 68% | 62% | 43% |
| 放射能による健康被害が心配            | 41%  | 43% | 47%  | 76% | 65% | 70%  | 53% | 36% | 30%  | 45% | 48% | 44%  | 65% | 53% | 56%  | 26% | 18% | 24%    | 39% | 40%   | 45%  | 40%    | 40% | 29%  | 26% | 29% | 30% |
| 地震が起こるかどうか心配             | 38%  | 36% | 37%  | 54% | 44% | 46%  | 42% | 30% | 29%  | 22% | 28% | 24%  | 48% | 47% | 30%  | 24% | 33% | 38%    | 38% | 41%   | 42%  | 40%    | 24% | 35%  | 51% | 52% |     |
| 放射能の安全性に関する情報が分からない      | 32%  | 30% | 35%  | 60% | 55% | 58%  | 36% | 24% | 19%  | 36% | 35% | 36%  | 30% | 24% | 40%  | 21% | 16% | 14%    | 30% | 29%   | 30%  | 35%    | 36% | 26%  | 23% | 20% | 13% |
| 地震による被害の復旧の状況が分からない      | 24%  | 23% | 22%  | 32% | 22% | 29%  | 29% | 20% | 15%  | 31% | 29% | 27%  | 28% | 28% | 22%  | 16% | 15% | 9%     | 23% | 21%   | 20%  | 29%    | 34% | 18%  | 18% | 22% | 17% |
| 病気や怪我にあった時が心配            | 20%  | 20% | 20%  | 10% | 11% | 15%  | 19% | 24% | 20%  | 23% | 28% | 20%  | 14% | 14% | 22%  | 22% | 18% | 26%    | 17% | 14%   | 15%  | 27%    | 30% | 13%  | 18% | 31% | 35% |
| 申込み手続きが面倒                | 17%  | 12% | 12%  | 4%  | 6%  | 6%   | 30% | 23% | 24%  | 8%  | 8%  | 7%   | 11% | 9%  | 8%   | 11% | 11% | 14%    | 6%  | 4%    | 9%   | 19%    | 9%  | 21%  | 33% | 44% | 35% |
| 食べ物が合わない                 | 17%  | 12% | 8%   | 10% | 12% | 5%   | 15% | 22% | 18%  | 16% | 8%  | 10%  | 4%  | 5%  | 4%   | 14% | 11% | 5%     | 9%  | 4%    | 6%   | 21%    | 23% | 8%   | 32% | 24% | 26% |
| 治安が心配                    | 17%  | 11% | 9%   | 14% | 11% | 7%   | 18% | 19% | 13%  | 11% | 9%  | 5%   | 11% | 8%  | 7%   | 22% | 8%  | 20%    | 16% | 6%    | 6%   | 18%    | 8%  | 16%  | 17% | 22% | 22% |
| 一緒にいきたい人と休みが合わせにくい       | 14%  | 15% | 11%  | 15% | 19% | 14%  | 12% | 9%  | 7%   | 12% | 13% | 20%  | 12% | 11% | 7%   | 17% | 21% | 14%    | 14% | 16%   | 5%   | 15%    | 13% | 8%   | 13% | 18% | 13% |
| 出発日・コース・価格などで条件に合うツアーがない | 15%  | 11% | 11%  | 7%  | 4%  | 8%   | 11% | 7%  | 8%   | 19% | 13% | 15%  | 16% | 12% | 9%   | 15% | 11% | 14%    | 13% | 17%   | 12%  | 20%    | 15% | 16%  | 15% | 18% | 9%  |



(注1) 上位5項目については赤または黄色で塗りつぶしを行った。  
(注2) 24の選択肢のうち、13項目を並べたものである。

## 「東日本大震災後の日本旅行に対する考え方」

### 対前年比較

日本で起きた東日本大震災に関連して、日本旅行に対する考えは変化したか

(回答は一つ)

| 回答者→                        | 全体   |      | 韓国   |      | 中国   |      | 台湾   |      | 香港   |      | タイ   |      | シンガポール |      | マレーシア |      | インドネシア |      |
|-----------------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|--------|------|-------|------|--------|------|
|                             | 4052 | 4000 | 500  | 500  | 1000 | 500  | 500  | 500  | 500  | 500  | 525  | 500  | -      | 500  | 527   | 500  | 500    | 500  |
| サンプル数                       | 2012 | 2013 | 2012 | 2013 | 2012 | 2013 | 2012 | 2013 | 2012 | 2013 | 2012 | 2013 | 2012   | 2013 | 2012  | 2013 | 2012   | 2013 |
| 震災後から、今でも日本旅行を控えている         | 24%  | 25%  | 46%  | 51%  | 29%  | 25%  | 13%  | 13%  | 37%  | 42%  | 6%   | 7%   | -      | 29%  | 17%   | 21%  | 15%    | 16%  |
| 震災直後は日本旅行を控えていたが、今はそう思っていない | 33%  | 32%  | 28%  | 23%  | 38%  | 45%  | 27%  | 27%  | 31%  | 30%  | 29%  | 30%  | -      | 29%  | 31%   | 27%  | 42%    | 42%  |
| 震災があったが、日本旅行は控えようと思わない      | 35%  | 37%  | 19%  | 14%  | 22%  | 24%  | 47%  | 50%  | 29%  | 26%  | 61%  | 61%  | -      | 39%  | 49%   | 48%  | 33%    | 32%  |
| 震災と関係なく、日本旅行はしたいと思わない       | 8%   | 6%   | 7%   | 13%  | 11%  | 6%   | 13%  | 10%  | 3%   | 2%   | 4%   | 2%   | -      | 4%   | 3%    | 3%   | 10%    | 10%  |



ので、それらの後押しを受けて日本に来てからの消費額が増えて来ることが期待されます。百貨店の方に伺いますと免税売上割合というのはわずか2～3%程度で、対応しなければなら

ないようなレベルにまだ至っていないということでした。しかしながら地道な取り組みによって国内に落ちるお金を増やすことを考えねばならないし、必ず出来ると私は思っています。

## (参考)免税売上高推移

### 免税売上高推移



(出所) 日本百貨店協会「外国人観光客の売上高・来店動向」より日本政策投資銀行作成



24

日本政策投資銀行

### ■訪日外国人の日本における滞在日数

訪日外国人の日本における滞在日数は、2つのタイプに分かれます。1日～3日と8日～9日のタイプで中国、台湾は短いタイプ。香港やインドネシアは長い滞在が多いという特徴が見られます。買物の消費金額は中国人が1人平均10万～20万円、20万～50万円が多く、相当派手に遣ってくれています。韓国は1万～3万円、

タイやマレーシアは3万～5万円、5万～10万円といったところが多くなっています。

### ■海外旅行とLCC

調査対象地域の多くは、日本への飛行時間が4時間以内というLCCの活用範囲内にあり、LCC利用経験は非常に高いです。マレーシアは68%、シンガポールは59%の人が利用経験

## 〈訪日経験者〉日本旅行における滞在日数

| 地域名      | 全体    | 中国   | 台湾   | 香港   | 韓国   | タイ   | インドネシア | マレーシア | シンガポール |      |
|----------|-------|------|------|------|------|------|--------|-------|--------|------|
| 回答数(人)   | 1,798 | 249  | 272  | 324  | 370  | 178  | 197    | 91    | 68     |      |
| 回答割合 (%) | 1-3日  | 37.1 | 40.6 | 46.6 | 27.9 | 27.1 | 44.6   | 40.5  | 39.1   | 42.3 |
|          | 4-5日  | 17.3 | 20.9 | 18.9 | 16.7 | 13.9 | 20.3   | 10.4  | 18.8   | 21.2 |
|          | 6-7日  | 17.5 | 20.5 | 16.2 | 24.7 | 17.1 | 11.5   | 8.0   | 13.0   | 17.3 |
|          | 8-9日  | 23.5 | 10.8 | 14.2 | 29.9 | 29.5 | 21.6   | 39.3  | 26.1   | 17.3 |
|          | 10日以上 | 4.6  | 7.2  | 4.1  | 0.9  | 12.4 | 2.0    | 1.8   | 2.9    | 1.9  |



25

日本政策投資銀行

## 訪日旅行中の買物における消費金額(複数回答)

| 地域名    | 全体               | 中国   | 台湾   | 香港   | 韓国   | タイ   | インドネシア | マレーシア | シンガポール |      |
|--------|------------------|------|------|------|------|------|--------|-------|--------|------|
| 回答数(人) | 1,798            | 272  | 324  | 370  | 298  | 178  | 68     | 91    | 197    |      |
| 消費金額   | 0~10,000円        | 4.3  | 0.4  | 4.6  | 2.4  | 12.4 | 1.7    | 4.4   | 3.3    | 3.0  |
|        | 10,001~30,000円   | 16.0 | 4.8  | 21.6 | 10.8 | 25.2 | 21.3   | 17.6  | 11.7   |      |
|        | 30,001~50,000円   | 19.0 | 7.0  | 22.8 | 13.5 | 25.5 | 25.3   | 29.4  | 24.2   | 17.8 |
|        | 50,001~100,000円  | 23.5 | 21.3 | 24.7 | 27.8 | 16.8 | 25.8   | 25.0  | 23.1   | 24.4 |
|        | 100,001~200,000円 | 18.3 | 34.6 | 12.3 | 25.4 | 8.4  | 12.9   | 8.8   | 15.4   | 16.8 |
|        | 200,001~500,000円 | 11.0 | 24.6 | 6.2  | 13.0 | 3.4  | 5.6    | 8.8   | 9.9    | 14.2 |
|        | 500,001円以上       | 3.0  | 7.4  | 0.6  | 2.4  | 1.3  | 4.5    | 2.9   | 3.3    | 3.0  |
|        | 不明               | 4.9  | 0.0  | 7.1  | 4.6  | 7.0  | 2.8    | 2.9   | 3.3    | 9.1  |



26

日本政策投資銀行

ありと回答しています。韓国や台湾は10%、15%と意外に利用していませんが、LCCという言葉が定着していないとも聞きます。また、LCCの利用によって浮いたお金をどう遣うかを聞いたところ、別の海外旅行に使うという

人、渡航先での消費に回す人と2つに分かれました。LCCは旅行者の消費行動を左右しています。将来も旅行需要の喚起に繋がる可能性があると思います。関西訪問希望者だけにLCC利用について聞いたところ、77%が今後LCC

## 「海外旅行とLCC」

### 海外旅行の際にLCC(Low Cost Carrier)を利用した経験

(回答は一つ)

| 回答者→<br>サンプル数         | 全体<br>4000 | 韓国<br>500 | 中国<br>500 | 台湾<br>500 | 香港<br>500 | タイ<br>500 | シンガポール<br>500 | マレーシア<br>500 | インドネシア<br>500 |
|-----------------------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|---------------|--------------|---------------|
| 利用したことがあり、今後も利用したい    | 36%        | 10%       | 45%       | 15%       | 25%       | 27%       | 58%           | 68%          | 36%           |
| 利用したことはないが、今後は利用したい   | 37%        | 39%       | 43%       | 52%       | 47%       | 33%       | 21%           | 16%          | 41%           |
| 利用したことはあるが、今後は利用したくない | 4%         | 4%        | 3%        | 3%        | 6%        | 3%        | 6%            | 6%           | 3%            |
| 利用したこともないし、今後も利用したくない | 7%         | 3%        | 3%        | 22%       | 12%       | 6%        | 5%            | 3%           | 2%            |
| LCCを知らない              | 16%        | 44%       | 5%        | 7%        | 10%       | 30%       | 9%            | 6%           | 17%           |

### LCCの利用によって抑制したお金をどのように使いたい(LCC利用希望者)

(回答は当てはまるもの全て)

| 回答者→<br>サンプル数                       | 全体<br>2903 | 韓国<br>249 | 中国<br>443 | 台湾<br>337 | 香港<br>359 | タイ<br>303 | シンガポール<br>400 | マレーシア<br>424 | インドネシア<br>388 |
|-------------------------------------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|---------------|--------------|---------------|
| 別の海外旅行の機会に使う                        | 46%        | 34%       | 43%       | 50%       | 33%       | 44%       | 52%           | 57%          | 49%           |
| 観光地見物やテーマパーク体験などを増やす                | 46%        | 38%       | 50%       | 45%       | 40%       | 38%       | 45%           | 52%          | 53%           |
| 買い物を増やす(自分で使用するもの)                  | 46%        | 26%       | 56%       | 45%       | 53%       | 42%       | 48%           | 46%          | 40%           |
| 買い物を増やす(お土産)                        | 43%        | 24%       | 55%       | 33%       | 42%       | 44%       | 36%           | 45%          | 56%           |
| 滞在期間を延ばす                            | 42%        | 28%       | 43%       | 39%       | 41%       | 36%       | 52%           | 47%          | 44%           |
| 食事を贅沢にする                            | 30%        | 18%       | 39%       | 27%       | 58%       | 33%       | 23%           | 27%          | 13%           |
| 宿泊施設をグレードアップする                      | 27%        | 21%       | 36%       | 30%       | 32%       | 30%       | 22%           | 24%          | 19%           |
| 海外旅行には使わず、貯蓄にまわす                    | 17%        | 7%        | 13%       | 25%       | 11%       | 27%       | 20%           | 18%          | 14%           |
| LCCでなければ海外旅行にはいかないの<br>で、お金は抑制していない | 1%         | 0%        | 1%        | 0%        | 1%        | 1%        | 1%            | 3%           | 2%            |
| お金の使途についてはわからない                     | 1%         | 1%        | 0%        | 1%        | 2%        | 2%        | 3%            | 0%           | 1%            |



27

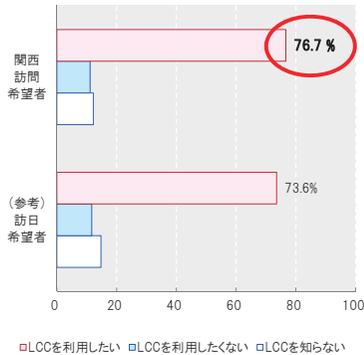
日本政策投資銀行

を使いたいと答えています。全国平均の74%に比べてわずかに多い。またリピート利用については90%がLCCを使いたいと言っています。なお、LCCは20代～30代の若年層にリピーターが多いのですが、利用経験のない40～50

代も今後はLCCを使ってみたいという意欲がありLCCのポテンシャルは高いと思っています。LCCの就航便数は関空が成田を抑えて圧倒的に多いですから、その優位性を活用すべきだと思います。

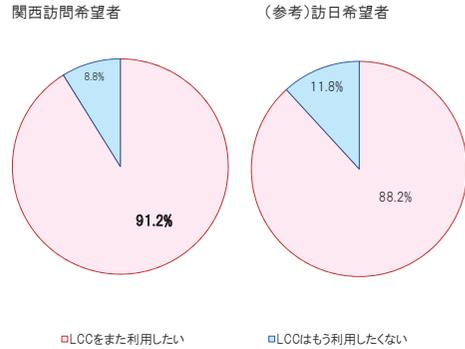
## 関西訪問希望者におけるLCC利用

関西訪問希望者におけるLCC利用希望率(アジア8地域合計)



(備考)「関西訪問希望者」のうち「海外旅行の際にLCCを利用したい」人の割合

訪日経験者かつ関西訪問希望者におけるLCCリピート利用希望率(アジア8地域合計)



(備考)「訪日」「海外旅行におけるLCC利用」経験者であり、「関西訪問希望者」のうち、「海外旅行の際にLCCを再度利用したい」人の割合



## LCCの就航状況(関空・成田)

| 就航国     | 関西国際空港    |           | 成田空港      |
|---------|-----------|-----------|-----------|
|         | 2012年(実績) | 2013年(予定) | 2013年(予定) |
| 韓国      | 63        | 66        | 28        |
| 台湾      | 28        | 28        | 7         |
| 香港      | 7         | 21        | -         |
| シンガポール  | 22        | 18        | 7         |
| マレーシア   | 4         | 7         | -         |
| フィリピン   | 7         | 11        | 4         |
| オーストラリア | 15        | 9         | 16        |
| 合計      | 122       | 140       | 62        |

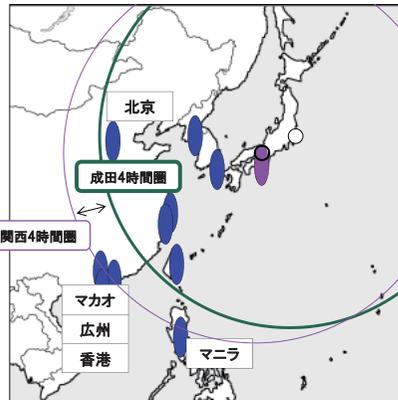
関空に就航するLCCは日本最多の全10社



(備考) 関西国際空港データについては各年の冬期スケジュールを採用。経由地は就航国としてカウントし、合計には含まない。

(出所) 新関西国際空港(株)、成田国際空港(株)へのヒアリングを元に日本政策投資銀行作成

### LCCは4時間以内の路線に照準

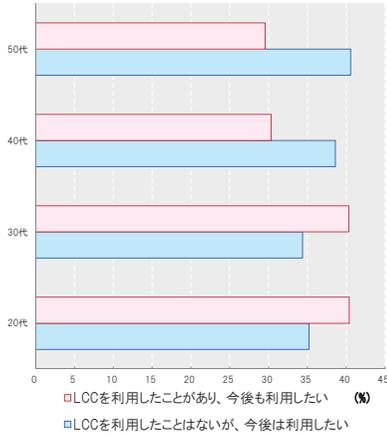


※なぜ4時間なのか  
4時間以内で行ける場所には鉄道の利用者が多く、4時間を超える場合には飛行機の利用者が増す。  
多頻度運航で効率性を上げるためにも、4時間が最長路線。



## LCCの年代別利用希望、LCCで抑制したお金の使いみち

LCCを利用した海外旅行希望比較  
(年代別、アジア8地域合計)



図表6 LCCで抑制したお金の使いみち  
(アジア8地域合計、複数回答) (%)

| 訪日経験/<br>用途       | 訪日経験<br>なし | 訪日経験あり |      |
|-------------------|------------|--------|------|
|                   |            | 1回     | 2回以上 |
| 自分のための<br>買い物を増やす | 42.5       | 47.5   | 51.4 |
| お土産を増やす           | 43.1       | 44.9   | 41.7 |
| 滞在期間を延ばす          | 41.6       | 39.1   | 46.1 |
| 別の海外旅行の<br>機会に使う  | 47.4       | 41.7   | 46.9 |
| 観光地・<br>テーマパークへ行く | 46.2       | 46.5   | 44.5 |



30

日本政策投資銀行

### ■関西訪問希望者の観光目的

関西訪問希望者に主な観光目的を聞いたところ、日本料理を食べるのが1位で、安くておいしい料理、リーズナブルで清潔な施設での宿泊、自分の好物を食べることと続き、食べることが中心になっています。その他は、有名な史跡や建築物を見るのが5位になっています。東京訪

問希望者は1位の日本料理を食べるは同じですが、2位に最新のファッションや流行を見ること、3位に近代的・先端的な建築物を見ることとなります。もちろん関西もファッションや先端的な建築物でも東京にひけは取らないわけですが、そうした部分ももっとPRしていくことが必要だと思います。

訪日希望者における観光目的(複数回答、順位は全45項目中)

| 順位                   | 大阪                 | (%)  | 東京                 | (%)  |
|----------------------|--------------------|------|--------------------|------|
| 1                    | 日本料理を食べる           | 67.3 | 日本料理を食べる           | 71.4 |
| 2                    | 安くておいしい料理を食べる      | 60.8 | 最新のファッションや流行の見物    | 65.8 |
| 3                    | リーズナブルで清潔な施設での宿泊   | 58.6 | 近代的/先端的な建築物の見物     | 64.9 |
| 4                    | 自分の好物を食べる          | 56.4 | 洋服やファッション雑貨のショッピング | 63.7 |
| 5                    | 有名な史跡や歴史的な建築物の見物   | 54.0 | 自分の好物を食べる          | 62.6 |
| ～以下、大阪の新たな強みとなりうる部分～ |                    |      |                    |      |
| 19                   | 洋服やファッション雑貨のショッピング | 36.6 |                    |      |
| 26                   | 近代的/先端的な建築物の見物     | 29.1 |                    |      |
| 29                   | 最新のファッションや流行の見物    | 28.2 |                    |      |



31

日本政策投資銀行

## ■地域のビジネスとして発展するインバウンド観光

最後にまとめとして、私見を交えてお話をさせていただきます。内需は90年代半ば以降、減少しています。今後も生産年齢人口が減っていきまますし、消費者の行動はますます多様化するでしょう。一方、世界の観光客到着人数は2010年の9.4億人から2030年には18億人に倍増すると予測されています。近隣アジアを中心に、今後も外需が増えていくことは間違い無いでしょう。

また、外国人訪問者数国別世界ランキングでは、日本は33位と見劣りしますし、観光収支も赤字という状況ですから、国の政策としても、インバウンド観光を積極的に振興していくことが重要な課題になるでしょう。

元来、日本の観光資源は豊富ですし、治安はよい、クリーンで、おもてなしの心は丁寧です。そうしたなか、前述の通り、私は、毎週のように関西各地を訪問しています。1時間半あれば関西のほとんどの場所へ行けるという近接性は関西の魅力です。紀伊半島の南の方は少し時間がかかりますが、丹後や伊勢志摩、四国も2時間の射程圏内に入ってきます。

また、関西は、歴史・文化の厚みがあり景勝

地も多く、神戸は大都市のすぐ近くに六甲山が迫っていますし、このような地形は世界でもそうない場所です。食文化も充実しています。京都のように洗練された食の世界もあれば、大阪のように安くても手を抜かない気質もあります。日本人の凄いところはラーメン一杯でも手を抜かないことです。海外では、概して安かろう、悪かろうになってしまうところがあります。日本の場合は料理人さんたちのこだわりがあらゆるジャンル、価格帯にまで浸透しており、こういった点も大いにアピールすべきだと思います。

また、関西は無数の観光ルートを構築出来る可能性を持っています。例えばドイツではロマンチック街道というキャッチフレーズで売り出していますし、川や街道をテーマに国をまたいで観光ルートが設定されています。関西でも、もっとユニークなコースを設定することが可能だと考えています。歴史や文化を辿るとか、食文化を探るとか、伝統工芸に触れる、といった様々なテーマ性を持ったルート設定が府県をまたいで出来ると思います。個性のあるエリアが近接して立地していることに加え、陸路、空路を含め、日本各地からも訪れやすいという交通上の利便性があるのです。

### 関西の旅行市場におけるインバウンド観光の現状とポテンシャル

- ▶ 関西は、日本の中でも歴史、文化の厚みがあるとともに、地形的にも景勝地に恵まれた地域。（DBJ外国人アンケートでも、訪日目的の上位に、景観、日本食、文化・歴史をあげている）。優れた食文化も存在。
- ▶ 近接したエリアに個性豊かな各府県、地域が集まっており、無数の周遊コース選定が可能となっている地理的特性。
- ▶ 開空の存在、新幹線を含めた交通上の利便性にも優れる。開空は、アジア地域により近い西方に位置する地の利を活かし、LCC国際線就航数で国内随一を誇る。LCC利用で抑制したお金の使い道として買い物あげる観光客は多いことから、関西での消費に期待（DBJレポート）。
- ▶ 一方、関西全体でのインバウンド旅行者に関するデータ等については未整備な部分もあり、今後統計の分析等を経て、更なるマーケティングを実施する余地がある。

## ■観光における需要の変化

観光における需要の変化を、マズローの欲求5段階の理論に当て嵌めて考えて見ました。戦後は、物見遊山に出掛ける余裕もなく、生きて行くことで精いっぱい時代でした。そして次の時代は人並みに旅行ぐらいして見たいという欲求が起こって来ます。高度成長期になると集団帰属の欲求の時代に入ります。他人が行く観光地へ自分も行きたいし、社員旅行も広がりました。またバブル期は他人よりも豪華な旅をしたい、優越的な立場になりたい、誰もが憧れる場所に行きたいという時代になります。そして現在は自己実現の欲求ということで、値段や流行に左右されずに、個々人が自らの感性に合った旅行を楽しむ時代を迎えていると思います。

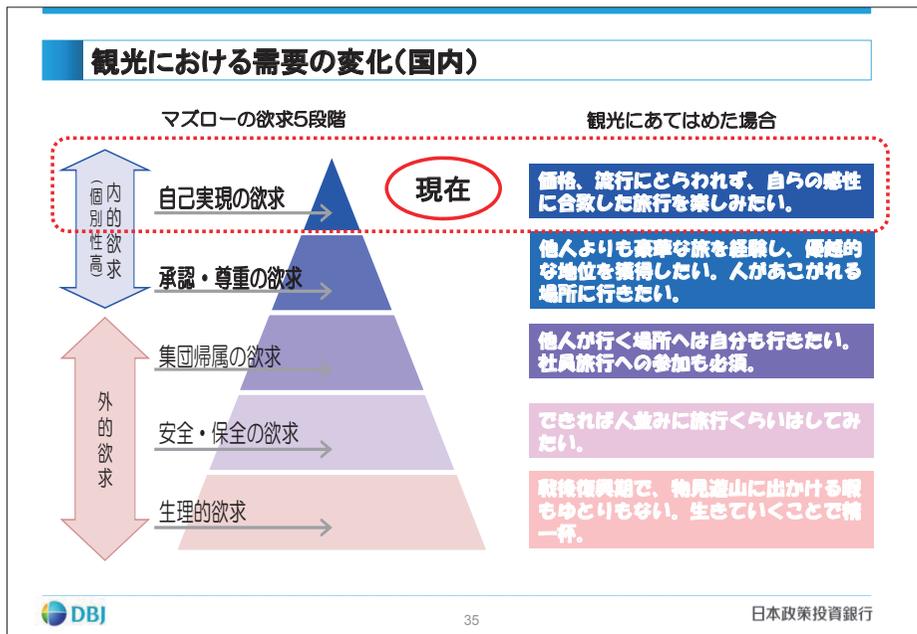
今後は、客数よりも観光収入重視へ向かうべきだと思っています。団体客からリピーターにもつながるような個人客中心へ、金太郎飴からご当地固有の強みを活かした観光地戦略へと移行し、個々の観光地はブランド化、高品質化を目指すべきでしょう。また、目の肥えた女性客を取り込むことも重要だと考えます。更には、お客様の滞在時間を少しでも増やす努力が必要でしょう。2時間滞在時間が増えれば昼ご飯を

食べてもらえます。4時間延びればもう一泊しようという気になります。そういう努力が必要になります。

## ■おわりに

最後になりますが、外需の前に内需をしっかりして目の肥えたりピーターをつかむべきだと思っています。関西は府県や市町村が連携すべきという論調をよく見受けまます。私は関西の各地域がそれぞれ違う顔を持っていることが魅力的で、むしろ緩やかな連携で十分だと考えております。ただ、訪日客の目線で考えたとき、関西全体でインバウンド観光客を増やすための取り組みや、訪日した観光客がスムーズに観光出来るインフラの整備については、府県や市町村が連携して早急に対応するべきです。

2020年に東京オリンピックを迎えます。多くの訪日客は、成田や羽田だけでは決してさばき切れません。関空にもたくさんの方が来ることが予想されます。それまでに関西が観光先進地域になることを期待して私の話を終わります。ご静聴ありがとうございました。





## 関空と統合型リゾート（IR）の可能性

読売新聞大阪本社 社会部 北口 節子

カジノやホテル、国際会議場やショッピングモールを集積した統合型リゾート（IR）を誘致する動きが活発化している。東京五輪・パラリンピックが開催される2020年までに国内初のカジノを開業するという見通しで超党派議員による議員立法の動きが進み、大きな経済効果も期待されている。

IRの候補地は、特に国際空港との交通アクセス整備が欠かせない条件だ。世界的に成功例とされる、開業してからわずか4年のシンガポールの都市型IRを訪れ、関西国際空港を軸にした国内IRの将来像を探った。

今年3月下旬、日本メディアを対象にした視察ツアーに参加した。シンガポール・チャンギ国際空港から車で20分足らず、高層ビルがそびえるビジネス街を背に、空高くそびえ舟型の屋上庭園を備える3本のタワーが見えてきた。国際会議や展示会などビジネス客を対象にした都市型IR「マリナー・ベイ・サンズ」（MBS）の象徴的な建物だ。

MBSのホテルは最高部で約200メートル、57階建て2,560室。併設の国際会議場・展示場は約4万5,000人を収容でき、屋内でつながっている高級ブランド店やレストランが集まる7万4,000平方メートルのショッピングモールに美術館、そして500のテーブルに1,600台のマシーンを備えたカジノがある。手がける米カジノリゾート運営会社「ラスベガス・サンズ」によると、会議場では昨年70件以上の展示会が開催され、今も半年先まで予約で埋まっているという。だが、実態はIRの総面積のわずか約3%程度を占めるカジノが事業全体の収益の70%以上を上げ、会議場などの設備投資を下支えている。

24時間営業のカジノは、吹き抜けの4階建て。1、2階が一般客向け、3階は会員客向け、4階はVIP

フロアで各部屋の窓にはカーテンが掛かり一般客は立ち入り禁止となっている。外国人客は入場時にパスポートを見せる仕組みで無料。午後9時を過ぎた頃から、1、2階の2か所ある入り口のパスポートチェックのカウンターは、ゲームを楽しもうと入場する外国人客で列が出来はじめた。

物は試しと、同じように列に並び、フロアに入場してみた。ルーレットは最低2シンガポールドルから、スロットは1同セントから遊べるが、1階にも最低掛け金が30同ドルのテーブルは、ほとんど満席。バカラやシックポーというゲームの人気が多く、テーブルはほぼ埋まり、どんどん掛け金をつき込む人、それを周りで見ながら楽しむ人、熱気と紫煙でむせかえりそうになった。

統合型リゾートと訳されるIR（Integrated Resort）は、シンガポール政府が生み出した造語だという。先進諸国の中でカジノを持たないのは今や日本だけと言われているが、シンガポール政府がカジノ付きIRの導入を決めたのは2005年。淡路島ほどの面積の国土に都市型とリゾート型の2つのIRを備え、多くの外国人客を呼び込んでいる。

シンガポールが、カジノ付きIR導入を決めた背景には、周辺のアジア新興国による経済成長を受けた旅行者数の減少があった。シンガポールの人口は約500万人。日本と同じく天然資源が乏しく国土も狭い中、中継貿易や欧米企業のアジア拠点誘致し観光産業に力を注いできた。だが、1990年代をピークに観光客数や消費額が減少。そこに、IRが導入された。

導入にあたり、リー・シェンロン首相は「カジノがあるというだけで数十億ドル規模の統合観光事業投資を却下することが国益になるのか」と訴えたという。政府観光局の担当者は「IR導入が、国にどんな利益やメリットを与え国際競争

力をつけるかを考えた」と話した。観光局によると導入前の2009年の観光収入は128億シンガポールドル。それが、2つのIRが開業した後の2011年には222億シンガポールドルと大幅アップしたという。さらに、シンガポール政府は2015年の目標を観光客1,700万人、観光収入300億シンガポールドルを掲げている。

つらつらとシンガポールのIRを紹介したが、ふと疑問に感じたのは、これを日本にそのまま当てはめられるのだろうかということだ。ミラスベガス・サンズのシェルドン・アデルソン会長は、ツアーに参加したメディアとのインタビューの中で、IRの成功要件として①高品質のホテルや飲食店、アトラクション施設などの観光インフラ②100社以上の航空会社が就航し、180都市とを結ぶ国際空港③空港周辺を含めた交通利便性——を挙げた。

だが、日本の空港でアジアのハブとされるチャンギ国際空港に打ち勝つことができるのだろうか。また、日本でのIRがシンガポールに匹敵、もしくはそれ以上の観光収入が期待出来るのだろうか。その疑念に答えるようにアデルソン会長は「日本には外国人を引きつける歴史的コンテンツがあり、アトラクションもある。さらに国内人口も多い」と、日本でのカジノ付きIRが成功できる可能性は高いと強調した。

国内では現在、少なくとも14都道府県で約40の自治体がIR導入を検討中だ。政府の成長戦略の目玉「国家戦略特区」が動き出し、訪日外国人2,000万人の達成に向けての起爆剤としての期待度も高い。だが、冷静に見なければならぬ。昨年、シンガポールは約1,550万人の外国人観光客が訪れている。一方、日本では、ようやく1,000万人を突破したばかりだ。

ここで、関空周辺の現状を見てみたい。本稿を執筆している最中、大阪府・市が、大阪市此花区の人工島・夢洲を軸としたベイエリアを候補地として推進していくことを決め、東京五輪が開催される2020年の開業を目指すということを明らかにした。

IRは民設民営だが、名乗りを上げる自治体が候補地を具体的に打ち出すことで海外のIR

運営会社の注目を高めたい狙いがある。国内のIRの誘致について、博報堂IR・MICE推進室の栗田朗氏によると、①知事の拳手、②行政の施策③経済界の意思④用地の確保——が最低条件だと指摘している。

大阪府・市は、市中心部から夢洲までの鉄道整備案を示す考えを表明したが、関空からの交通アクセスはどういう計画になるのだろうか。IRはどこを向いているのかと考えると、主たる利用者は訪日外国人客だ。外国人客を引きつけるには手軽で目的地までのルートがわかりやすい交通手段が必要となってくる。

現状では、関空からは少なくとも車で40分、電車では乗り換えも必要で、ゆうに1時間半はかかってしまう。空港や対岸のりんくうタウンから高速艇を出すのが最も直線的に移動できるが、大阪湾の旅客船や貨物船ルートを横切る形になり航路の調整が難しそうだ。都市部からの利便性と空港からの交通アクセスの両方を解決する策として、地下鉄やモノレールを新設する方法があるが、莫大な整備費と時間がかかるだろう。

大阪府内では、関空対岸のりんくうタウンを持つ泉佐野市も誘致に名乗りを上げる。市は、りんくうタウン約100ヘクタールにカジノやMICE、宿泊施設や飲食店、ポップカルチャー拠点、国際医療施設などを再整備する計画を掲げ、今年3月には、官民一体で効果的なIR誘致を目指す「泉佐野りんくう国際観光振興協議会」（会長＝宮本勝浩・関西大教授）も発足させた。統合型観光リゾート誘致担当も兼ねる市の中平良太まちの活性化担当理事は「民間事業者に選んでもらえる潜在的魅力は、我が市に十分にある」と訴える。

IRの候補地は単一の自治体でなければならぬわけではない。空港とどう結びつつ、地元経済を潤すのに効果的な地域設定はどこか。関空に降り立った外国人客がビジネス利用としても、広域観光拠点としても、使いやすく過ごしやすいIRが求められる。関西経済の最重要課題とされる関空と相乗効果を生み出すIRこそ、航空貨物の分野にとどまる24時間空港という関空の潜在能力を最大限に生かす方法にもつながり、大きな価値を生み出すものになると期待したい。



## 貨物価値と航空化率

— 経済学的な視点からの予備的考察 — (後編)

神戸大学大学院経営学研究科

村上 英樹

(一財)関西空港調査会 航空交通研究会メンバー)

神戸大学大学院経営学研究科博士課程

松瀬 由佳里

### 3. 航空化率と貨物価値—品目別・国別の事例—

前節の実証分析では、2国間の距離が長くなるほど、航空化率が上昇することが明らかになった。これは輸送時間が長くなるに伴い、特に海運では高価値貨物輸送にかかる種々の費用が増加するためであると考えられる。この仕組みを、下記の図1で考察しよう。

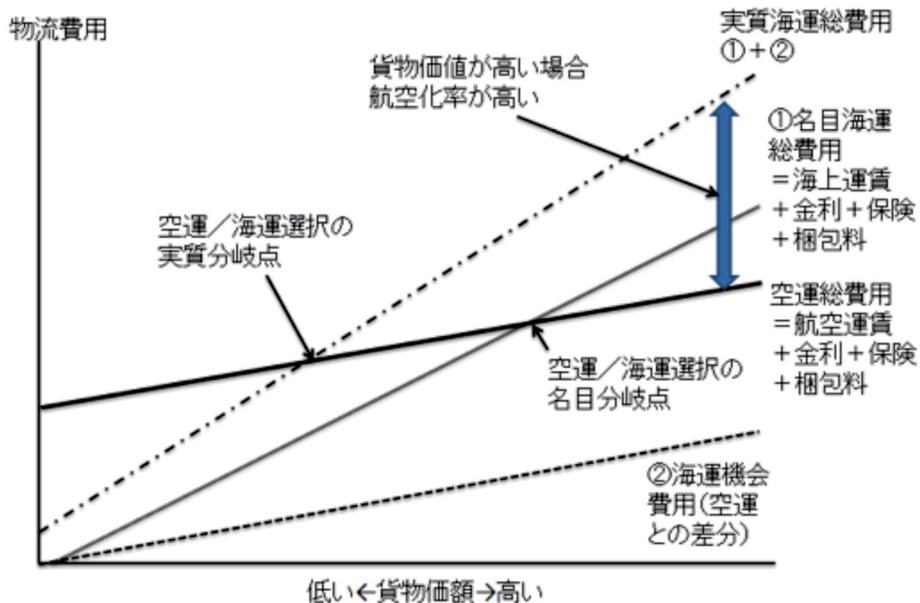


図1 貨物価値と物流費用

宮下(2002)の図8、4を元に筆者が補筆の上作成。

航空貨物の単位当たり価額は海上のその数倍から数百倍であり、運賃負担力(輸送コストを貨物価値、例えば価額で除した値)に基づく運賃決定によると、海上運賃は相対的に安く、航空運賃は高い。また海運・空運それぞれの費用については、輸出先で貨物を受け取る企業側が輸出原価、運賃、金利、および保険料を負担する(C.I.F.価格)<sup>1</sup>そしてこれら貨物にかかる金利と保険料は、

1 例えば吉野昌甫編(1983)、『貿易・為替小辞典』、128-129ページのC.I.F.、C.I.F.& I、C.I.F.& E、C.I.F.& Cを参照せよ。C..I..F.. Cost(輸出原価)、Insurance(保険料)、and Freight(運賃)の頭文字で、更にI(Interest、金利)、E(Exchange、為替費用)、あるいはC(Commision、貿易に関する各種手数料)の略である。これらの費用は輸出先の貨物の受け取り側が負担する。

輸送日数が長いほど多くかかる。それゆえ海運の輸送日数が長くなると、やがて海運総費用の方が航空総費用よりも高くなる。梱包料においては貨物の価値が高いほどより丁寧に扱うために高い。さらに、海上輸送は低速であり輸送には時間がかかるため、高速輸送である航空輸送と比較するとその分の機会費用が余分にかかる。特に商品の陳腐化、例えば商品 A を輸送中に仕向地で A よりも新しい商品が売り出されたような場合である。空運による機会費用も発生するが、高速であるために海運のそれよりも小さい。また、その分の保険や金利も航空輸送より多く費用が発生するために、結局は海上輸送よりも航空輸送の方が総費用を抑えられることもある。すると図 1 のように、実質の空運／海運選択の分岐点が見つかる。これよりも貨物価値が上昇するほど安定的に航空を選択することが合理的となる。そして製品ライフサイクルが成熟期から衰退期にかけては貨物価値（単位当たり価額）が下がり、空運から海運にシフトして航空化率が下落していく。

次に、2 節での統計学的分析に用いたデータから、銅・アルミニウム・亜鉛・チタン・白金等を含む非鉄金属と、ラジオ受信機やアンプ・スピーカー・マイク等を含む音響機器についての航空化率の推移について個別的に考察してみよう。次の図 2、図 3 は、財務省貿易統計より非鉄金属と音響機器の 1988 年から 2013 年までの 26 年間の航空化率をグラフ化したものである。

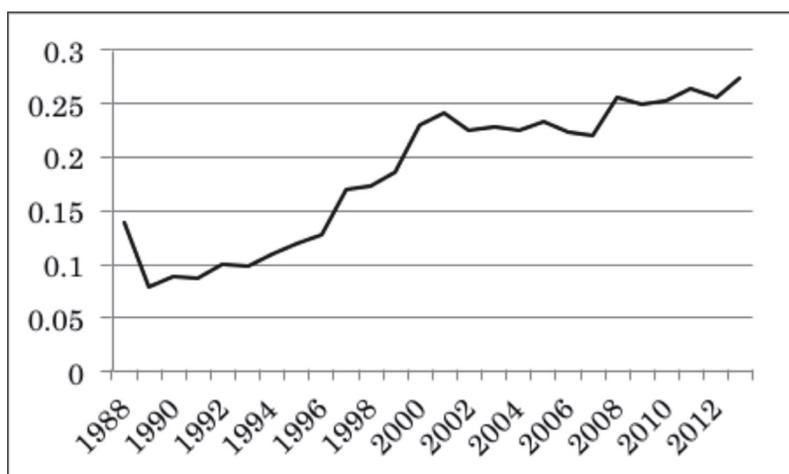


図2：非鉄金属の航空化率の推移（縦軸は航空化率を表す。財務省貿易統計より筆者が作成。）

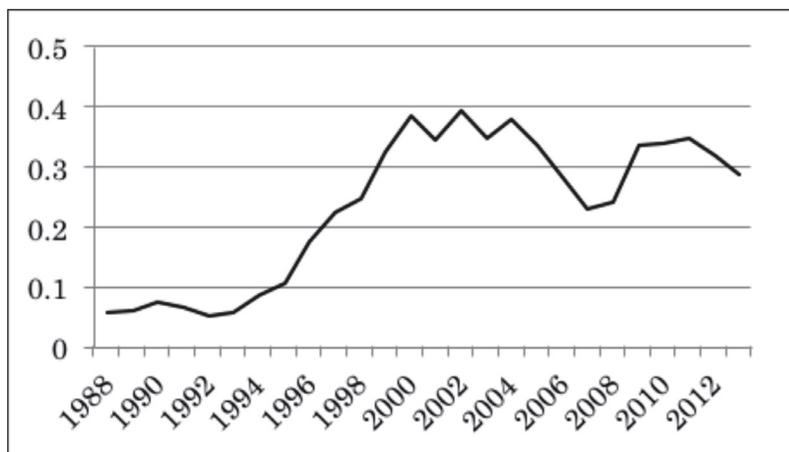


図3：音響機器の航空化率の推移（縦軸は航空化率を表す。財務省貿易統計より筆者が作成。）

先に述べた通り、原材料系である非鉄金属の輸出量にはサイクルはほぼ存在しない。しかし右肩上がりのトレンドが存在する。近年の貿易統計データによると、すでに宝飾品としての価値を失った貴金属その他レアアース金属などが国内で買い取られ輸出される傾向が強まっているからである。そのため航空化率も概ね右肩上がりの、特にトレンドの見受けられないグラフとなっている。一方音響機器は、最終消費財であるために周期的に価値が変動すると考えられる。また近年 iPod のような小型高価値の製品が輸出され、かつそれらにライフサイクルが存在する故に、航空化率も周期的に変動すると考えられる。サイクルにおけるいわゆる成長期から成熟期にかけての時点運賃負担力が増加し、航空化率が上昇する一方、衰退期と導入期には運賃負担力が低く、特に衰退期には海運の低速輸送による機会費用も発生しないために海運が選ばれることになる。また、日本製品の高品質がこの20年海外において認知されてきて、それに伴い威光価格が設定されることで運賃負担力が増加し、航空化率が右肩上がりのトレンドが形成されたと解釈される。<sup>2</sup>

航空化率に影響を与えるものとして、製品ライフサイクルあるいは威光価格のほか、制度的な要因も考えられる。例えば医薬品に関してはいわゆる2010年問題、つまり大型医薬品の特許期限切れにより、相対的に安価な後発医薬品が浸透し始めた。これが輸出航空化率に影響している一例が図4である。図4は対米医薬品の航空化率の推移を2010年から13年についてあらわしたものである。特許期間満了による平均的な医薬品の価値の低下が一時的に約10%の航空化率の低下をもたらし、その後2012年から13年にかけては安定した状態になったと思われる。

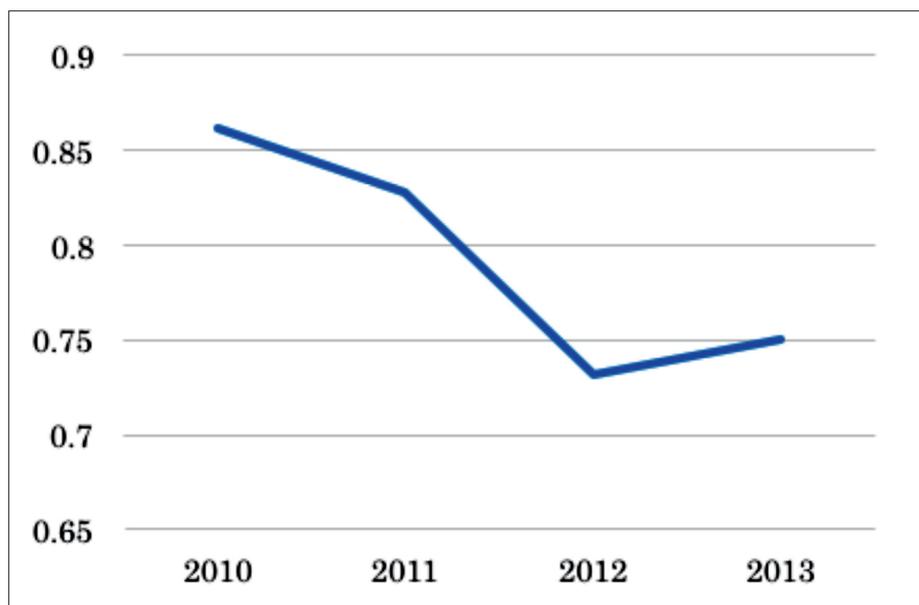


図4 対アメリカ向け医薬品の航空化率の推移（縦軸は航空化率を表す。財務省貿易統計より筆者が作成。）

2 威光価格 (price premium) 戦略とは、山口 (2009) によると「価格をあえて高くして、ブランドの地位を高め、消費者が製品を持つことで、社会的ステータスを感じさせるプライシング」である。名声価格あるいは象徴価格ともいう。航空に関していえば大手ネットワークキャリア (フルサービスキャリア) が高品質のサービスの対価として、例えば LCC と比較して高い運賃を設定し顧客に満足感を持たせることである。航空分野への応用研究では、例えば Hofer et al. (2008) の実証的研究を参照せよ。

## 4. おわりに

本稿は前編と後編にわたって、特に近年の我が国の航空貨物・海運貨物の相対価値と、日本と多国間との距離が空運／海運選択にどのような影響を及ぼしているか、及び原材料系、製品系に分けてそれぞれについて貨物価値と航空化率との関係がどのようなものであるかについて、統計学および記述統計により分析を行った。空運／海運選択は、宮下（1988）に始まる一連の研究および Murakami et al.（2013）あるいは村上（2014）にあるのと同様、プロダクトライフサイクル、例えば医薬品で見られた制度面の要因、あるいは威光価格の形成などが製品価値を変化させ、それが航空化率の変化に結び付くことが示唆される。また、2国間が長距離化するにつれ海運利用による機会費用が増加することで空運が選択されること、また一般的な要素需要と価格との関係、つまり航空価額が上昇すれば航空化率は下がり、海運価額が上昇すれば上がるという関係も航空化率関数の推定において確認された。政策的な示唆としては、このように空運／海運選択は輸送される製品の価値変動により変化する点からいずれか一方を重点化するよりも海空輸送の選択を荷主が自由に選択し効率的に組み合わせを行える環境を提供することであろう。最後に本稿は、前編で述べたようにいまだに試論の域を出ないため、サンプル数をさらに増やして分析結果をより確実なものにしていくことが必要である。これを今後の課題としたい。

### 【参考文献】

- Hofer, C., R., Windle, and M. Dresner (2008), "Price premiums and low cost carrier competition," *Transportation Research Part E*, Vol. 44, pp.868-882. 宮下國生（1988）、『海運』、晃洋書房。  
宮下國生（1994）、『日本の国際物流システム』、千倉書房。  
宮下國生（2002）、『日本物流業のグローバル競争』、千倉書房。  
Miyashita, K. (2009), "Structural change in the international advanced logistics", *Asian Journal of Shipping and Logistics*, 25 (1), 121-138.  
Miyashita, K., (2010), "Logistics strategy and modal choice", Costas Th. Grammenos (ed.), *Handbook of Maritime Economics and Business*, 2nd.edition, Lloyd's List, 997-1016.  
Murakami, H., Y. Matsuse, K. Mukaigawa, and Y. Tsunoda (2013), "Dynamics of product lifecycle and sea/air modal choice: Japan's evidence of import and export," *The 6th International Conference of Shipping and Logistics - Sustainability of Shipping and Logistics -, ICASL2013*, pp.77-94.  
村上英樹（2014）、『製品のライフサイクルと空運・海運選択 —日本の輸出入のケース』、『ていくおふ』第134号、ANA 総合研究所、2-9ページ。  
山口正浩（2009）、『プライス・マーケティング』、同文館、95ページ。  
吉野昌甫編（1983）、『貿易・為替小辞典』、128-129ページ。  
財務省、『貿易統計』、1988～2013年度分。

# 日立造船 Hitz 防災ソリューションラボラトリーの見学会

4月25日に日立造船株式会社のご厚意により、日立造船堺工場でHitz 防災ソリューションラボラトリーの見学会を開催した。

- 見学先 日立造船 Hitz 防災ソリューションラボラトリー  
大阪府堺市西区築港新町1丁5番1日立造船株式会社堺工場
- 開催日時 平成26年4月25日(金) 14時30分～17時
  - 14:30 集合 南海本線堺駅西口駅前
  - 14:40 チャーターバス出発
  - 15:00～16:30 日立造船 堺工場 防災ラボ見学
  - 16:30 チャーターバスに乗車
  - 17:00 南海本線堺駅前で解散
- 参加者 賛助会員 31名



工場の防潮堤



ビルや地下鉄入口の防潮堤

最初に、日立造船 Hitz 防災ソリューションラボラトリーについてご説明いただきました。

## ☆防潮堤の実験

津波や高潮で押し寄せる水の力で自動的に立ち上がる防潮堤が見学できる施設を設置している。施設では、工場、ビル、地下鉄のそれぞれの出入口を模した3箇所の模擬設備があり、それぞれの場所で、電力なしで防潮堤が押し寄せてくる水の圧力の作動する様子が確認できた。平常時は、工場、ビル、地下鉄の出入口で車や人の出入りに支障がないように防潮堤が設置されており、タンクから90tの水を放出すると、



防潮堤実験プールに90tの水を注入

防潮堤が水圧で立ち上がり押し寄せてくる水を防ぎ止める。動力源として電力を使わないので、防潮堤の電源スイッチを入れに行く途中で災害に遭うこともなく、また通常時のメンテナンスも簡単とのことである。防潮堤の幅や高さも現場に応じて設計可能とのことであった。実験施設で90トンの水が押し寄せてきて防潮堤が立ち上がる様子は一見の価値があった。そして90トンの水がタンクに吸い上げられる早さに驚いた。見学位置を変えながら通常は2回のところを3回も見せて頂いた。大阪の地下街や地

下鉄の出入り口にはぜひとも必要であると痛感した。

### ☆放電破砕

土砂災害等で、道路や河川をふさいでいる岩や崩落の恐れのある岩などの破砕に、重機を搬入できない場所などで利用できるように開発されたそうである。3,000ボルトの放電でコンクリートを破壊する実験を見せて頂いた。可搬可能な機器で電力は家庭用100ボルトや小型発電機で充電できるそうである。



放電破砕工法設備



### ☆GPS海洋パイ

GPS 波浪計として、日本の海上沖20kmに現在17基設置されている。これを小型化してPPP-AR測位と衛星通信を活用することで、100km沖合でも津波観測が可能なGPS海洋パイを開発中であり、津波の多いチリやインドネシアなどにも提案しているそうである。

ご説明いただいた日立造船株式会社様に謝意を表します。

### 従来型と新型の実験機との比較

ポリエチレン製浮体と繊維ロープの採用 ⇒ 小型化・軽量化  
 PPP-AR測位と衛星通信の採用 ⇒ 100km沖合設置が可能

| 従来型   | 新型  |
|---|---|
| <b>GPS海洋パイの仕様</b><br>主要材質 構造用鋼材<br>測位方式 RTK-GPS測位<br>データ伝送 無線<br>離岸距離 20km程度<br>係留索 チェーン・ワイヤーケーブル | ポリエチレン樹脂・アルミ<br>PPP-AR測位<br>衛星通信<br>100km程度<br>チェーン・繊維ロープ |
| 直径 5m   | 3.6m  |
| 高さ 19m  | 11.1m   |
| 重量 48t  | 4.9t  |

Hitachi Zosen Copyright © Hitachi Zosen Corporation, All Rights Reserved. GPS海洋パイの小型化

## 2013 年度（平成 25 年度）運営概況（速報値）

【参考】 <http://www.kiac.co.jp/pr/pr.htm>

### ○発着回数 133,296 回（対前年比 104%）

国際線： 86,418 回  
（対前年比 102%）  
国内線： 46,878 回  
（対前年比 106%）

#### 発着回数について

2013 年度の発着回数は、13 万 3 千回（前年比 104%）と 3 年連続で前年を上回り、年度として過去最高となっております。国際線が過去最高の夏期・冬期スケジュール、国内線はピーチの新規路線就航等が主な要因となっております。

### ○旅客数 18,120,842 人（対前年比 108%）

国際線： 12,046,754 人  
（対前年比 105%）  
国内線： 6,074,088 人  
（対前年比 113%）

#### 旅客数について

年度の国際線旅客数は、1,812 万人（前年比 108%）と 2 年連続で前年を上回り 12 年ぶりに 1,800 万人超となっております。足元の 3 月の外国人旅客数につきましては、単月として歴代過去最高の 47 万 6 千人となっております。

### ○貨物量 670,625t（対前年比 98%）

国際貨物： 646,755t（対前年比 98%）  
積込量： 293,033t（対前年比 98%）  
取卸量： 353,722t（対前年比 98%）  
国内貨物： 23,870t（対前年比 84%）

#### 貨物量について

年度の貨物量につきましては、国際線貨物量は 65 万トン（前年比 98%）と 3 年連続で前年を下回りましたが年度後半の 10 月以降は 6 ヶ月連続で前年を上回っており、回復基調となっております。

1. 乗入便数のその他には空輸機・燃料給油機・プライベート機・特別機等を含む。

2. 国際線旅客数は、大阪入国管理局関西空港支局発表数値を参考に算出。 3. 国際貨物量は、大阪税関公表の関西国際空港航空機積卸貨物量。

平成 26 年 4 月 21 日 大阪税関・発表資料より

## 大阪税関貿易速報 [関西空港]

（平成 26 年 3 月分）

【貿易額】（単位：百万円、%）

|      | 輸 出       |       |       | 輸 入       |       |       | バランス<br>(△は入超) |           |
|------|-----------|-------|-------|-----------|-------|-------|----------------|-----------|
|      |           | 前年比   | 全国比   |           | 前年比   | 全国比   |                |           |
| 近畿圏  | 1,351,856 | 103.1 | 21.2  | 1,462,503 | 120.0 | 18.7  | △              | 110,647   |
| 管内   | 842,955   | 106.0 | 13.2  | 1,141,078 | 118.7 | 14.6  | △              | 298,123   |
| 大阪港  | 278,482   | 107.6 | 4.4   | 433,907   | 117.2 | 5.5   | △              | 155,425   |
| 関西空港 | 391,240   | 104.8 | 6.1   | 354,269   | 125.8 | 4.5   |                | 36,971    |
| 全国   | 6,382,623 | 101.8 | 100.0 | 7,828,878 | 118.1 | 100.0 | △              | 1,446,254 |

【空港別貿易額】（単位：百万円、%）

|       | 輸 出     |       |      | 輸 入       |       |      | バランス<br>(△は入超) |         |
|-------|---------|-------|------|-----------|-------|------|----------------|---------|
|       |         | 前年比   | 全国比  |           | 前年比   | 全国比  |                |         |
| 関西空港  | 391,240 | 104.8 | 6.1  | 354,269   | 125.8 | 4.5  |                | 36,971  |
| 成田空港  | 714,454 | 97.9  | 11.2 | 1,081,728 | 120.3 | 13.8 | △              | 367,274 |
| 羽田空港  | 15,103  | 76.5  | 0.2  | 67,721    | 160.9 | 0.9  | △              | 52,618  |
| 中部空港  | 69,260  | 111.7 | 1.1  | 71,151    | 113.3 | 0.9  | △              | 1,892   |
| 福岡空港  | 36,589  | 96.8  | 0.6  | 26,401    | 95.0  | 0.3  |                | 10,188  |
| 新千歳空港 | 2,269   | 142.0 | 0.0  | 1,026     | 92.4  | 0.0  |                | 1,244   |

## 関西国際空港の出入(帰)国者数

|          | 外国人          |              |              |              | 日本人          |              |              |              | 合計 (1日平均)  |           |
|----------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|------------|-----------|
|          | 外国人入国 (1日平均) | 外国人出国 (1日平均) | 日本人帰国 (1日平均) | 日本人出国 (1日平均) | 外国人入国 (1日平均) | 外国人出国 (1日平均) | 日本人帰国 (1日平均) | 日本人出国 (1日平均) | 合計 (1日平均)  | 合計 (1日平均) |
| 平成6年     | 254,482      | 2,139        | 258,566      | 2,173        | 940,315      | 7,902        | 955,393      | 8,029        | 2,408,756  | 20,242    |
| 平成7年     | 756,740      | 2,073        | 750,195      | 2,055        | 3,271,373    | 8,963        | 3,294,853    | 9,027        | 8,073,161  | 22,118    |
| 平成8年     | 948,542      | 2,592        | 914,848      | 2,500        | 4,067,434    | 11,113       | 4,102,609    | 11,209       | 10,033,433 | 27,414    |
| 平成9年     | 1,079,427    | 2,957        | 1,027,910    | 2,816        | 4,316,824    | 11,827       | 4,320,636    | 11,837       | 10,744,797 | 29,438    |
| 平成10年    | 1,079,290    | 2,957        | 1,022,094    | 2,800        | 4,054,740    | 11,109       | 4,045,772    | 11,084       | 10,201,896 | 27,950    |
| 平成11年    | 1,112,468    | 3,048        | 1,079,403    | 2,957        | 4,251,949    | 11,649       | 4,226,223    | 11,579       | 10,670,043 | 29,233    |
| 平成12年    | 1,194,740    | 3,264        | 1,158,019    | 3,164        | 4,598,347    | 12,564       | 4,646,518    | 12,695       | 11,597,624 | 31,687    |
| 平成13年    | 1,198,460    | 3,283        | 1,152,108    | 3,156        | 4,152,997    | 11,378       | 4,118,258    | 11,283       | 10,621,823 | 29,101    |
| 平成14年    | 1,177,532    | 3,226        | 1,119,898    | 3,068        | 3,809,221    | 10,436       | 3,829,030    | 10,490       | 9,935,681  | 27,221    |
| 平成15年    | 1,112,229    | 3,047        | 1,057,401    | 2,897        | 2,928,003    | 8,022        | 2,916,829    | 7,991        | 8,014,462  | 21,957    |
| 平成16年    | 1,289,109    | 3,522        | 1,245,589    | 3,403        | 3,771,899    | 10,306       | 3,755,088    | 10,260       | 10,061,685 | 27,491    |
| 平成17年    | 1,369,514    | 3,752        | 1,327,750    | 3,638        | 3,861,466    | 10,579       | 3,861,860    | 10,580       | 10,420,590 | 28,550    |
| 平成18年    | 1,505,025    | 4,123        | 1,431,800    | 3,923        | 3,852,179    | 10,554       | 3,861,140    | 10,578       | 10,650,144 | 29,178    |
| 平成19年    | 1,662,378    | 4,554        | 1,584,128    | 4,340        | 3,676,627    | 10,073       | 3,687,939    | 10,104       | 10,611,072 | 29,071    |
| 平成20年    | 1,652,085    | 4,514        | 1,568,513    | 4,286        | 3,342,988    | 9,134        | 3,336,644    | 9,117        | 9,900,230  | 27,050    |
| 平成21年    | 1,357,558    | 3,719        | 1,332,025    | 3,649        | 3,188,812    | 8,736        | 3,184,158    | 8,724        | 9,052,551  | 24,829    |
| 平成22年    | 1,751,906    | 4,800        | 1,736,108    | 4,756        | 3,353,402    | 9,187        | 3,349,188    | 9,176        | 10,180,605 | 27,909    |
| 平成23年    | 1,343,897    | 3,682        | 1,363,251    | 3,735        | 3,396,026    | 9,304        | 3,388,895    | 9,285        | 9,492,089  | 26,008    |
| 平成24年    | 1,795,222    | 4,905        | 1,778,162    | 4,858        | 3,616,472    | 9,881        | 3,622,975    | 9,899        | 10,812,831 | 29,543    |
| 平成25年1月  | 142,240      | 4,590        | 134,640      | 4,340        | 294,500      | 9,500        | 281,680      | 9,090        | 853,060    | 27,520    |
| 平成25年2月  | 161,120      | 5,750        | 163,750      | 5,850        | 272,630      | 9,740        | 291,760      | 10,420       | 889,260    | 31,760    |
| 平成25年3月  | 196,350      | 6,330        | 169,140      | 5,460        | 369,090      | 11,910       | 340,910      | 11,000       | 1,075,490  | 34,690    |
| 平成25年4月  | 221,010      | 7,370        | 236,170      | 7,870        | 227,210      | 7,570        | 230,470      | 7,680        | 914,860    | 30,500    |
| 平成25年5月  | 189,510      | 6,110        | 178,870      | 5,770        | 247,910      | 8,000        | 245,960      | 7,930        | 862,250    | 27,810    |
| 平成25年6月  | 202,340      | 6,740        | 194,470      | 6,480        | 255,070      | 8,500        | 253,110      | 8,440        | 904,990    | 30,170    |
| 平成25年7月  | 217,670      | 7,020        | 218,110      | 7,040        | 274,770      | 8,860        | 281,580      | 9,080        | 992,130    | 32,000    |
| 平成25年8月  | 200,520      | 6,470        | 215,250      | 6,940        | 349,550      | 11,280       | 357,130      | 11,520       | 1,122,450  | 36,210    |
| 平成25年9月  | 192,950      | 6,430        | 173,650      | 5,790        | 315,890      | 10,530       | 296,520      | 9,880        | 979,010    | 32,630    |
| 平成25年10月 | 204,300      | 6,590        | 200,520      | 6,470        | 277,110      | 8,940        | 288,210      | 9,300        | 970,140    | 31,290    |
| 平成25年11月 | 206,330      | 6,880        | 198,490      | 6,620        | 279,080      | 9,300        | 272,630      | 9,090        | 956,530    | 31,880    |
| 平成25年12月 | 192,610      | 6,210        | 203,320      | 6,560        | 270,860      | 8,740        | 299,250      | 9,650        | 966,040    | 31,160    |
| 平成25年累計  | 2,326,950    | 6,380        | 2,286,380    | 6,260        | 3,433,670    | 9,410        | 3,439,210    | 9,420        | 11,486,210 | 31,470    |
| 平成26年1月  | 214,230      | 6,910        | 188,220      | 6,070        | 301,010      | 9,710        | 255,010      | 8,230        | 958,470    | 30,920    |
| 平成26年2月  | 198,700      | 7,100        | 215,360      | 7,690        | 254,960      | 9,110        | 289,340      | 10,330       | 958,360    | 34,230    |
| 平成26年3月  | 253,960      | 8,190        | 221,970      | 7,160        | 340,990      | 11,000       | 317,620      | 10,250       | 1,134,540  | 36,600    |
| 平成26年4月  | 302,140      | 10,070       | 316,510      | 10,550       | 221,620      | 7,390        | 221,020      | 7,370        | 1,061,290  | 35,380    |
| 平成26年累計  | 969,030      | 8,080        | 942,060      | 7,850        | 1,118,580    | 9,320        | 1,082,990    | 9,020        | 4,112,660  | 34,270    |
| 前年同期     | 720,720      | 6,010        | 703,700      | 5,860        | 1,163,430    | 9,700        | 1,144,820    | 9,540        | 3,732,670  | 31,110    |
| 対前年同期比   | 134.5%       |              | 133.9%       |              | 96.1%        |              | 94.6%        |              | 110.2%     |           |

※外国人入出国者数には、協定該当者を含み、特例上陸許可は含まれない。

※平成6年の数値は、開港(9月4日)以降の総数である。

## 平成26年G/W期間中における 出入（帰）国者数【速報値（概数）】

平成26年4月25日（金）から5月6日（火）までのG/W期間中（12日間）において、関西国際空港を利用した出入（帰）国者数は次のとおりです。

\* 出・入（帰）国者総数 405,900人（昨年比15.8%増）  
 （内）出国者数 209,900人（昨年比20.6%増）  
 （内）入（帰）国者数 196,000人（昨年比11.0%増）

\* 出国ピーク 5月3日（土） 22,000人  
 （過去最多 平成13年4月28日 25,100人）

\* 入（帰）国ピーク 5月6日（火） 23,400人  
 （過去最多 平成13年5月6日 30,200人）

\* 出入（帰）国ピーク 4月26日（土） 38,900人  
 （過去最多 平成13年5月6日 42,500人）

出国者渡航先国（地域）別では、第1位が《韓国 41,500人》、以下《台湾 36,800人》《東南アジア 32,700人》、の順であり、台湾と東南アジアの順位が入れ替わった以外は、前年の順位とほぼ同じであった。

また、対前年比では、北米とグアム・サイパンが減少したものの、他は増加しており、香港が57.9%増、台湾が44.3%増、中国が37.7%増と大幅に増えている。

### G/W期間中の出入（帰）国者数

| 平成26年<br>4月25日～5月6日（12日間） |   |         |         | 平成25年<br>4月26日～5月7日（12日間） |       |   |         |         |         |
|---------------------------|---|---------|---------|---------------------------|-------|---|---------|---------|---------|
|                           |   | 出 国     | 入（帰）国   | 合 計                       |       |   | 出 国     | 入（帰）国   | 合 計     |
| 4月25日                     | 金 | 18,500  | 17,200  | 35,700                    | 4月26日 | 木 | 16,900  | 15,600  | 32,500  |
| 4月26日                     | 土 | 20,700  | 18,200  | 38,900                    | 4月27日 | 金 | 18,600  | 15,900  | 34,500  |
| 4月27日                     | 日 | 18,900  | 15,300  | 34,200                    | 4月28日 | 土 | 16,000  | 12,800  | 28,800  |
| 4月28日                     | 月 | 16,500  | 12,100  | 28,600                    | 4月29日 | 日 | 12,900  | 14,600  | 27,500  |
| 4月29日                     | 火 | 15,200  | 15,100  | 30,300                    | 4月30日 | 月 | 11,100  | 11,600  | 22,700  |
| 4月30日                     | 水 | 13,600  | 17,000  | 30,600                    | 5月1日  | 火 | 14,600  | 11,400  | 26,000  |
| 5月1日                      | 木 | 16,000  | 17,400  | 33,400                    | 5月2日  | 水 | 17,100  | 9,900   | 27,000  |
| 5月2日                      | 金 | 18,600  | 12,900  | 31,500                    | 5月3日  | 木 | 18,600  | 11,900  | 30,500  |
| 5月3日                      | 土 | 22,200  | 14,000  | 36,200                    | 5月4日  | 金 | 11,700  | 14,800  | 26,500  |
| 5月4日                      | 日 | 18,200  | 13,800  | 32,000                    | 5月5日  | 土 | 13,700  | 18,900  | 32,600  |
| 5月5日                      | 月 | 16,700  | 19,600  | 36,300                    | 5月6日  | 日 | 12,000  | 23,300  | 35,300  |
| 5月6日                      | 火 | 14,800  | 23,400  | 38,200                    | 5月7日  | 月 | 10,800  | 15,900  | 26,700  |
| 合 計                       |   | 209,900 | 196,000 | 405,900                   | 合 計   |   | 174,000 | 176,600 | 350,600 |
| 1日平均 33,800人              |   |         |         | 1日平均 29,200人              |       |   |         |         |         |

出国者渡航先国（地域）別一覽表

|          | 平成26年<br>4月25日～5月6日<br>(12日間) |         |         | 平成25年<br>4月26日～5月7日<br>(12日間) |         |
|----------|-------------------------------|---------|---------|-------------------------------|---------|
|          | 実績数                           | 構成比率    | 対前年比    | 実績数                           | 構成比     |
| 韓国       | 41,500                        | 19.8 %  | 102.5 % | 40,500                        | 23.3 %  |
| 中国       | 31,800                        | 15.2 %  | 137.7 % | 23,100                        | 13.3 %  |
| 香港       | 22,900                        | 10.9 %  | 157.9 % | 14,500                        | 8.3 %   |
| 台湾       | 36,800                        | 17.5 %  | 144.3 % | 25,500                        | 14.7 %  |
| 東南アジア    | 32,700                        | 15.6 %  | 112.8 % | 29,000                        | 16.7 %  |
| 北アメリカ    | 4,000                         | 1.9 %   | 85.1 %  | 4,700                         | 2.7 %   |
| ハワイ      | 8,300                         | 4.0 %   | 115.3 % | 7,200                         | 4.1 %   |
| グアム・サイパン | 5,400                         | 2.6 %   | 94.7 %  | 5,700                         | 3.3 %   |
| オセアニア    | 3,000                         | 1.4 %   | 107.1 % | 2,800                         | 1.6 %   |
| ヨーロッパ    | 15,100                        | 7.2 %   | 112.7 % | 13,400                        | 7.7 %   |
| その他      | 8,400                         | 4.0 %   | 110.5 % | 7,600                         | 4.4 %   |
| 合計       | 209,900                       | 100.0 % | 120.6 % | 174,000                       | 100.0 % |

## 不法就労外国人対策キャンペーン月間

### ■法務省入国管理局からのお知らせ■

法務省では、例年6月1日から1か月間、「不法就労外国人対策キャンペーン月間」を設け、外国人の不法就労防止に対する理解と協力を得るために啓発活動を実施しています。

近年、国際交流は一層活発となり、多くの国からたくさんの外国人の方々が日本を訪れており、平成25年には我が国に入国した外国人は約1,125万人となっており、対前年比約208万人の大幅な増加となりました。

外国人のほとんどの方々は、適正な手続により入出国されていますが、一方で、不法就労を目的として我が国に入国しようとする外国人も後を絶たないばかりか、その入国手段も年々悪質、巧妙化しています。また不法残留外国人数も、当局の施策及びに関係機関の御協力により、年々減少しておりますが、本年1月1日現在で、依然として約5万9千人を数える状況にあります。

今後、更に国際交流を発展させ、より良い日本社会を築くためには、外国人の方々に日本の法律を遵守していただきつつ、国際交流の推進を図ること、すなわち、「ルールを守って国際化」することが必要です。

そのためには、喫緊の課題であります不法就労防止に向け、皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

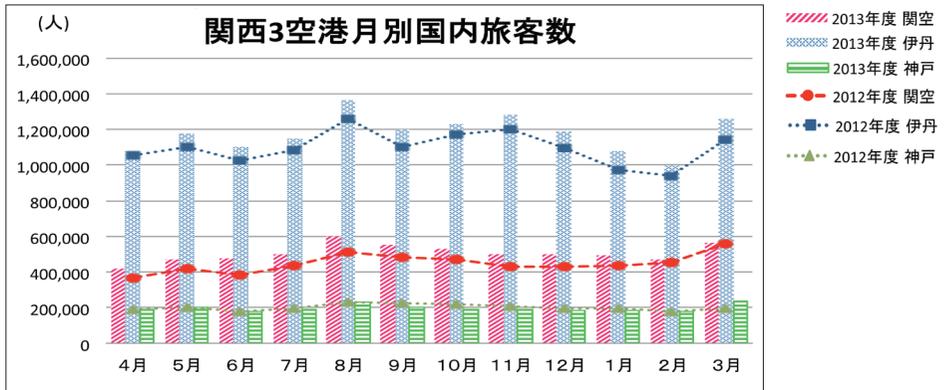
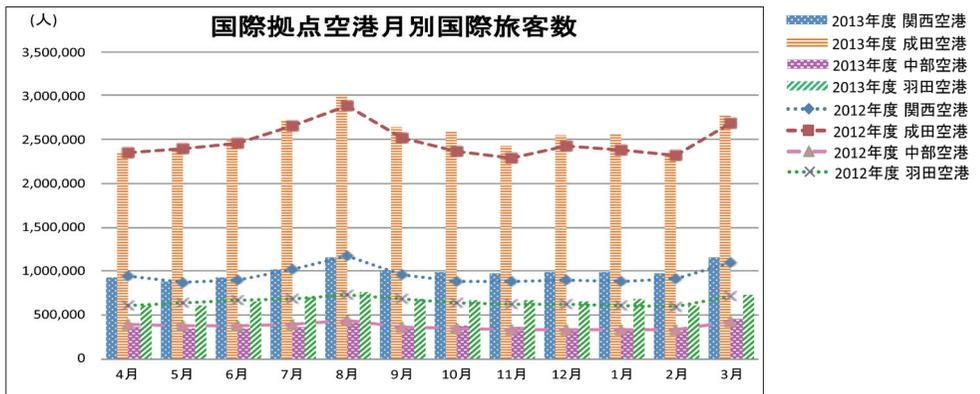
# 関西 3 空港と国内主要空港の利用状況

2014 年 3 月実績【速報】

| 区分          | 空港名    | 国際線       |        | 国内線       |        | 合計        |        |
|-------------|--------|-----------|--------|-----------|--------|-----------|--------|
|             |        | 前年同月比     | 前年同月比  | 前年同月比     | 前年同月比  |           |        |
| 発着回数<br>(回) | 関西3空港  | 7,721     | 106.2% | 18,064    | 105.5% | 25,785    | 105.7% |
|             | 関西     | 7,719     | 106.2% | 3,958     | 98.2%  | 11,677    | 103.4% |
|             | 大阪(伊丹) | 0         | —      | 11,776    | 109.5% | 11,776    | 109.5% |
|             | 神戸     | 2         | —      | 2,330     | 99.2%  | 2,332     | 99.3%  |
|             | 成田     | 15,783    | 106.2% | 4,701     | 126.4% | 20,484    | 110.2% |
|             | 東京(羽田) | 3,487     | 106.5% | 31,426    | 104.8% | 34,913    | 105.0% |
|             | 中部     | 2,776     | 109.1% | 4,791     | 109.1% | 7,567     | 109.1% |
| 旅客数<br>(人)  | 関西3空港  | 1,153,723 | 105.4% | 2,057,063 | 107.3% | 3,210,786 | 106.6% |
|             | 関西     | 1,153,722 | 105.4% | 561,118   | 100.7% | 1,714,840 | 103.8% |
|             | 大阪(伊丹) | 0         | —      | 1,257,283 | 110.1% | 1,257,283 | 110.1% |
|             | 神戸     | 1         | —      | 238,662   | 109.7% | 238,663   | 109.7% |
|             | 成田     | 2,782,920 | 103.6% | 571,892   | 135.4% | 3,354,812 | 107.9% |
|             | 東京(羽田) | 736,397   | 102.6% | 5,607,075 | 107.0% | 6,343,472 | 106.5% |
|             | 中部     | 415,100   | 97.1%  | 483,799   | 115.8% | 898,899   | 106.3% |
| 貨物量<br>(トン) | 関西3空港  | 61,846    | 108.6% | 14,744    | 109.3% | 76,590    | 108.7% |
|             | 関西     | 61,846    | 108.6% | 2,093     | 97.0%  | 63,939    | 108.1% |
|             | 大阪(伊丹) | 0         | —      | 12,425    | 115.7% | 12,425    | 115.7% |
|             | 神戸     | 0         | —      | 226       | 38.1%  | 226       | 38.1%  |
|             | 成田     | 191,506   | 112.6% | 集計中       | —      | 191,506   | 112.6% |
|             | 東京(羽田) | 15,804    | 112.6% | 68,913    | 111.3% | 84,718    | 111.6% |
|             | 中部     | 15,270    | 158.0% | 3,067     | 123.6% | 18,337    | 151.0% |

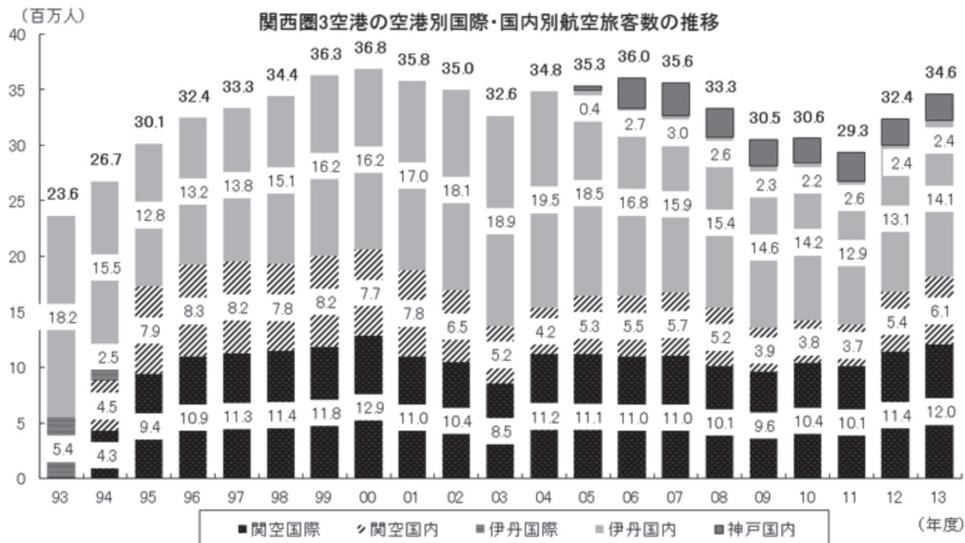
注1. 神戸の発着回数は着陸回数を2倍して求めた数値。

注2. 速報値であり、確定値とは異なることがある。



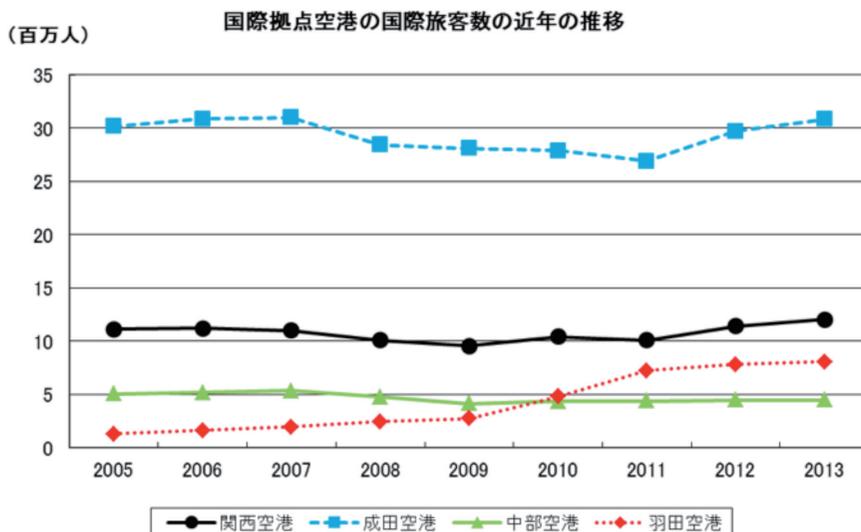
## ・関西圏3空港の年度別航空旅客数の推移

関西圏の関空・伊丹・神戸の3空港の2013年度の国際・国内の合計旅客数は、6年振りに3,400万人を越えた。空港別では2012年度と比較し、神戸を除き、前年を上回った。空港別国際・国内別の増加数では、伊丹の国内の約100万人増加、増加率では関空の国内の13%増加が大きかった。



## ・国際拠点空港の国際旅客数の近年の推移

2013年度の関西空港、成田空港、中部空港、羽田空港の4空港の国際旅客数は、中部空港を除き前年度を上まわり、増加した3空港の中では関西空港が最も伸び率が高かった。これは、円安やビザの発給条件緩和などの影響により、東南アジア、台湾、香港などの国・地域を中心にインバウンドの増加が寄与したと思われる。なお、国際線発着枠が拡大した羽田空港は、実際の増便が2014年夏ダイヤからのため、その効果が現れるのは2014年度になるとみられる。



## 関西空港調査会からのお知らせ

### ○見学会（平成26年4月25日開催）

「日立造船Hitz防災ソリューションラボラトリーの見学会」の見学会を実施した。

### 今後の予定

#### ○第412回定例会（土木学会継続教育プログラム登録（1単位））

日 時 平成26年5月22日（木）16：00～17：00

場 所 大阪キャッスルホテル

テ ー マ 「東アジアからの訪日旅行者の現状と今後の動向について」（仮題）

講 師 鳴尾 仁秀 氏（㈱JTB西日本 営業部地域交流チームマネージャー

インバウンド事業・訪日マーケティング担当）

#### ○第413回定例会（土木学会継続教育プログラム登録（1単位））

日 時 平成26年6月23日（月）16：00～17：00

場 所 大阪キャッスルホテル

テ ー マ 「近畿圏の国際競争力の強化に向けて

～防災計画、国際コンテナ戦略港湾「阪神港」等について」（仮題）

講 師 成瀬 英治 氏（国土交通省 近畿地方整備局港湾空港部長）

#### ○第414回定例会（土木学会継続教育プログラム登録（1単位））

日 時 平成26年7月10日（木）16：00～17：00

場 所 大阪キャッスルホテル

テ ー マ 「民間航空機市場の現状と経済産業省の取り組みについて」（仮題）

講 師 須山 稔 氏（経済産業省近畿経済産業局産業部長）

※上記「定例会」に参加ご希望の方は当調査会ホームページ（<http://www.kar.or.jp/>）からお申し込み下さい。定員になり次第締切いたします。

#### ○第5回懇話会

日 時 平成26年5月28日（水）16：30～18：30

場 所 大阪キャッスルホテル

テ ー マ 「ANA Cargoの事業戦略について ～関西からアジアへ、世界へ～」

講 師 岡田 晃 氏（㈱ANA Cargo 代表取締役社長）

※上記「懇話会」は賛助会員特定会員を対象としたものです。一般の方は参加いただけません。

#### ○見学会

日 時 平成26年6月12日（木）12:30～15:30

見 学 先 大阪湾沖埋立処分場

定 員 35名（定員になり次第、締め切らせていただきます。）

※上記「見学会」は賛助会員特定・特別会員を対象としたものです。一般の方は参加いただけません。

## 事務局だより

▶4月の初旬に2007年7月号でも紹介した、和歌山県の友ヶ島に行ってきました。

友ヶ島は紀淡海峡に浮かぶ神島、地の島、沖ノ島、虎島の四島を合わせた総称で、一般に友ヶ島観光と言われているのは沖ノ島です。友ヶ島は第2次世界大戦が終わるまでは旧日本軍の軍用地で一般の人は立ち入ることが出来なかったそうです。現在も島内には大戦中の施設が多く残されています。

▶上陸後は地図を見ながら歩いて行きました。

散策していて印象に残ったのは島内に6カ所あると言われている砲台跡。全部は見る事が出来ませんでした。中でも観光パンフレットによく載っている第3砲台跡は圧巻でした。煉瓦づくりの砲台は壊れることなく当時の姿そのままでした。海辺にあった第2砲台跡は戦後爆破された姿で残っていました。

島には手つかずの自然も多く残っていて、緑の中の散策は気持ちよかったです。藪椿や桜も咲いていて、頂上からの眺めも最高でした。また、歩いているとリスが目の前を何度も横切ってビックリしました。私は遭遇しませんでした。鹿や野生化した孔雀もいるそうです。

頂上付近にはVOR/DMEという航空保安施設もあり、散策している私たちの頭上を関空に着陸する飛行機が頻繁に通過していきました。

▶友ヶ島には4時間ほどの滞在でしたが異空間に紛れ込んだ感じも体験でき、ミステリアスな雰囲気の中で自然も満喫できる面白いところでした。

（ふ）

淡路島の夏!! うまい本場の鱧

## 雅な味わい淡路島の鱧はも(南あわじ市)



淡路島は、古来より御食国みけつくにと呼ばれる、豊かな食に恵まれた島です。

なんといっても、これからの時期のおすすめは、「ハモ」です。

ハモは、梅雨の水を吸っておいしくなると言われており、京都八坂神社の祇園祭や大阪天満宮の天神祭になくてはならない食材として関西では馴染み深い魚です。

淡路島近海で獲れるハモは、骨も皮も柔らかく、身は淡白な中にも甘みがあり、延縄(はえなわ)で漁獲されたものは、魚体に傷やスレがなく最高級のハモ「べっぴんハモ」と呼ばれ、珍重されています。

料理としては湯引きや天ぷら、ハモずしが有名ですが、淡路島ならではの、旬の淡路島玉ねぎとともに味わう鍋料理「ハモすき」を是非召し上がってください。

■ハモ料理を食べられる施設、お店については下記の案内所にお問い合わせ下さい。

☆一般社団法人 淡路島観光協会

南あわじ観光案内所 Tel.0799-52-2336 洲本観光案内所 Tel.0799-25-5820

岩屋観光案内所 Tel.0799-72-3420 淡路SA観光案内所 Tel.0799-72-0168

淡路島観光ガイド <http://www.awajishima-kanko.jp/>

